

※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※
※
※
※
※ 2015 年 度 事 業 報 告 書
※
※
※
※
※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※

公益財団法人 武田科学振興財團

2015 年度 事業報告書

公益財団法人 武田科学振興財団

本年度は、事業の中核をなす研究助成事業について、現行 10 の研究助成プログラムを継続し、このうち、医学系研究奨励、薬学系研究奨励も、ビジョナリーリサーチ継続助成同様、2 年または 3 年後に応募できるようにした。

また、2012 年度新設の医学部博士課程奨学助成は、第 1 回奨学助成者が奨学期間（最大 4 年間）を終了した。

(1) 科学技術に関する研究機関および研究者に対する研究助成（研究助成）

- ① 武田報彰医学研究助成は、理事、評議員、名誉顧問、武田医学賞選考委員、武田医学賞受賞者、日本学士院会員〔第 7 分科〕、日本学士院賞受賞者〔1999 年以降医学関連〕の 88 名から推薦された、研究室立上げ 3 年未満の医学系研究者を対象に、選考委員会で決定し、1 件 3,000 万円 7 件 計 2 億 1,000 万円を贈呈した。
- ② 生命科学研究助成は、生命科学分野の研究者を対象に公募を行い、選考委員会で決定し、1 件 1,000 万円 21 件 計 2 億 1,000 万円を贈呈した。
- ③ ライフサイエンス研究奨励は、医学・歯学・薬学系研究機関以外の生命科学研究者を対象に公募を行い、選考委員会で決定し、1 件 200 万円 34 件 計 6,800 万円を贈呈した。
- ④ 医学系研究奨励は、医学系の研究者を対象に公募を行い、選考委員会で決定し、1 件 200 万円 203 件（がん領域、精神・神経・脳領域、感染症、基礎、臨床；各採択率は一律とする。）計 4 億 600 万円を贈呈した。
継続助成は、本研究奨励の 2012 年度および 2013 年度被助成者を対象に公募を行い、選考委員会で決定し、1 件 300 万円 22 件（生活習慣病 4 件、精神・神経・脳領域 6 件、感染症 2 件、基礎 7 件、臨床 3 件）計 6,600 万円を贈呈した。
- ⑤ 薬学系研究奨励は、薬学系の研究者を対象に公募を行い、選考委員会で決定し、1 件 200 万円 42 件 計 8,400 万円を贈呈した。

継続助成は、本研究奨励の2012年度および2013年度被助成者を対象に公募を行い、選考委員会で決定し、1件300万円 6件 計1,800万円を贈呈した。

⑥ 特定研究助成は、研究機関を対象として、我が国の医学の発展に寄与する共同研究を対象に公募を行ない、選考委員会で決定し、1件3,600万円～5,000万円 10件 計4億円を贈呈した。

⑦ ビジョナリーリサーチ助成〔スタート〕は、医学分野の進歩・発展に貢献する将来に向けて夢のある、成功すれば卓越した成果が期待できる研究を対象に公募を行い、選考委員会で決定し、1件200万円 30件 計6,000万円を贈呈した。

さらに成果が期待できる研究に対しては、継続助成を実施した。

継続助成〔アップ〕は、(i)2012年度および2013年度〔スタート〕被助成者、(ii)2012年度〔スタート〕被助成者で2014年度〔アップ〕非採択者を対象に公募を行い、選考委員会で決定し、1件500万円 11件 計5,500万円を贈呈した。

継続助成〔ステップ〕は、(i)2012年度および2013年度〔アップ〕被助成者、(ii)2012年度〔アップ〕被助成者で2014年度〔ステップ〕非採択者を対象に公募を行い、選考委員会で決定し、1件1,000万円 6件 計6,000万円を贈呈した。

⑧ 高等学校理科教育振興奨励は、全国の高等学校およびそれに準ずる教育機関に所属する教員および職員を対象に公募を行い、選考委員会で決定し、1件30万円 40件 計1,200万円を贈呈した。

⑨ 中学校理科教育振興奨励は、全国の中学校およびそれに準ずる教育機関に所属する教員および職員を対象に公募を行い、選考委員会で決定し、1件30万円 30件 計900万円を贈呈した。

⑩ 杏雨書屋研究奨励は、杏雨書屋所蔵資料に関する研究を対象に公募を行い、選考委員会で決定し、1件60～80万円 6件 計460万円を贈呈した。

以上、研究助成の贈呈金総額は16億6,260万円（対前年度実績比1億4,660万円増）となった。

(2) 研究者および学生に対する奨学助成（奨学助成）

① 外国人留学研究者に対する助成（外国人留学助成）

日本において医学・薬学などの医療分野で研究する外国人留学研究者に対する留学助成を行った。

本年度は、7指定国より50名、その他の国より5名、計55名の留学生が来日し、

留学助成金として総額 9,640 万円を支給した。

なお、1964 年に本事業を開始して以来、2016 年 3 月末までに留学助成した外国人留学研究者の総数は 41 カ国から 1,509 名である。

本年度に留学助成を行った来日留学研究者数は、次の通りである。

〈2016年3月31日現在(来日ベース)〉

国 別	2015年度 計画 (人數)	実 績 (人數)				備 考
		本年度	前年度 繰越	次年度 繰上	計	
台 湾	6	5	0	2	7	7名承認。7名来日。
タ イ	8	7	0	1	8	8名承認。8名来日。
フィリピン	8	8	0	0	8	8名承認。8名来日。
韓 国	5	4	1	0	5	5名承認。5名来日。
中 国	10	8	1	0	9	10名承認。9名来日。
インドネシア	8	7	0	0	7	8名承認。7名来日。
ベトナム	6	5	1	0	6	6名承認。6名来日。
7カ国 小計	51	44	3	3	50	
上記7カ国以外	5	5	0	0	5	5名承認。3名来日。2名は申請時在日
総 計	56	49	3	3	55	

② 医学部博士課程入学者に対する助成（医学部博士課程奨学助成）

医学部医学科卒業見込学生および医学部医学科卒業者で国内の指定 7 大学（東京大学、京都大学、大阪大学、名古屋大学、北海道大学、東北大学、九州大学）の医学（系）研究科博士課程基礎医学系への入学者に対し、奨学金（年間 360 万円、各大学から計 12 名）の支給を行う事業を実施した。

2012 年度から 2014 年度の奨学助成者 34 名と合わせて計 46 名に、総額 1 億 6,560 万円を奨学助成したが、2013 年度奨学助成者の 1 名が 2016 年 1 月から休学、2014 年度奨学助成者の 1 名が 2016 年 3 月から中断して就職したことから、合計残余期間に相当する 120 万円の返金を受けた。また、2013 年度助成者で継続奨学助成の推薦を受けた者（14 名）の中から、審査の上、研究優秀者に対して 1 件 50 万円 2 件 計 100 万円を追加奨学助成した。

以上から、医学部博士課程の奨学金総額は、1 億 6,540 万円となった。

なお、5 月 28 日（木）に第 4 回医学部博士課程奨学助成認定式を実施した。

(3) 科学技術に関する注目すべき研究業績に対する褒賞（武田医学賞）

7月21日（火）に開催した選考委員会において、12件12名の候補につき7名の選考委員による慎重かつ公正な選考の結果、医学界において顕著な業績を上げられた2名（下記参照）の褒賞を決定した。

受賞者には、11月12日（木）開催の贈呈式において、武田医学賞（賞状と賞牌と盾）および副賞（1件 1,500万円）をそれぞれ贈呈した。

稻葉 カヨ 博士

現 職：京都大学 副学長

対象研究課題：免疫応答の始動と制御における樹状細胞機能の解析

渡邊 嘉典 博士

現 職：東京大学 教授

対象研究課題：染色体分配の制御機能の研究

(4) 科学技術に関する時流に合ったテーマによる国際シンポジウムの開催（国際シンポジウム）

第8回 武田科学振興財団薬科学シンポジウム The 8th Takeda Science Foundation Symposium on PharmaSciences を開催した。

テ－マ：「生命分子から薬を創る－中分子薬を中心に－」

“Biomolecule-Based Medicinal Science: Featuring Mid-Size Drugs”

組織委員長：木曾 良明 博士（長浜バイオ大学 教授）

組織委員：上杉 志成 博士（京都大学 教授）

堅田 利明 博士（東京大学 教授）

佐々木 茂貴 博士（九州大学 教授）

周東 智 博士（北海道大学 教授）

講演：20名（国内10名、国外10名）

ポスター発表（125件）

会期：2016年1月21日（木）～22日（金）

場所：武田薬品研修所（大阪府吹田市）

参加者：454名

シンポジウムポスター褒賞金は、ポスター発表者を対象に、組織委員

他で構成する選考委員会で決定し、1件50万円 7件 計 350万円を贈呈した。（褒賞）

(5) 科学技術の振興に関する出版物の発刊（本草医書発刊）

6月、杏雨書屋機関誌「杏雨」18号を発刊した。

また、10月に「曲直瀬道三と近世日本医療社会」500部、1月に「本草・薬物の研究」400部を発刊した。

(6) 東洋医書その他図書資料の保管、整理、収集および公開（本草医書公開）

① 保管・整理

複写114,632枚、複写製本444冊、補修231冊を行った。

② 公開

閲覧者は116名（閲覧図書620部、2,278冊）、複写依頼は51名（複写部数98部、2,444枚）、展示室見学者は4,429名（特別展示会を含む。）であった。

＜常設展示会＞

「医学・薬学にまつわる素材と道具類」をテーマに開催した。（見学者4,429名）

＜特別展示会＞

(i) 春季：4月13日（月）～18日（土）、第116回 日本医史学会総会・学術大会時 4月25日（土）～26日（日）に「近世京阪の医学」をテーマに開催した。（見学者 303名）

(ii) 秋季：10月13日（火）～17日（土）、神農祭 11月22日（日）～23日（月）に「皇帝がみた博物図鑑-本草品彙精要の世界-」をテーマに開催した。（見学者 2,415名）

③研究講演会

i) 第33回 研究講演会を以下の通り行った。

日 時：2015年4月18日（土）13:00～15:00

場 所：武田科学振興財団 5階

演 題：道修町の今昔

演者：深澤 恒夫氏（くすりの道修町資料館 館長）

演 題：漢蘭折衷の医学

演者：町 泉寿郎氏（二松学舎大学 教授）

参加者：105名

ii) 第34回研究講演会を以下の通り行った。

日 時：2015年10月17日（土）13:00～15:00

場 所：武田科学振興財団 5階

演 題：絵図本草と『本草品彙精要』

演者：真柳 誠氏（茨城大学 人文学部 教授）

演 題：『本草品彙精要』と明代宮廷画院

演者：塚本 磨充氏（東京大学東洋文化研究所 准教授）

参加者：86名

④ 稀観本購入

ニーランド『ネーデルラント薬用草木誌』初版 1点

クルムス『ターヘル・アナトミア』蘭訳版 1点

難波抱節自筆稿本・旧蔵写本・版本一括 21点

二十八宿三薇垣並星象図 1点

家宝全書・清嘉録・医謬正俗難波抱節自筆本 7点

解体新書 5点

古文孝經 1点

玉機微義 12点

杉立文庫 26点

古訓医伝葉能方法辨 5点

傷寒論国字辨 1点

傷寒論辨正 1点

傷寒外伝 1点

五書剔髓 1点

傷寒論識 6点

傷寒論特解 1点

家刻傷寒論 1点

傷寒貫珠集 1点

喻嘉言先生傷寒尚論篇全書 1点

金匱正辨 1点

傷寒論劉氏伝 1点

傷寒論轍義 1点

傷寒論大意 1点

キニホフ『Botanica in Originali Pharmaceutica.』 1点

温知堂文庫 619点

解体新書 5点

経史證類大觀本草 25点

以 上

事業報告附属明細書

別表（1）2015年度研究助成金贈呈者明細

別表（2）2015年度来日外国人留学研究者（国別人数）

別表（3）2015年度外国人留学研究者明細

別表（4）国別外国人留学研究者数累計

別表（5）2015年度医学部博士課程奨学助成者明細

別表（6）第8回武田科学振興財団薬科学シンポジウム ポスター褒賞 受賞者明細

2015年度研究助成金贈呈者明細

武田報彰医学研究助成			
氏名	所属機関	職位	研究題目
伊川 正人	大阪大学 微生物病研究所	教授	CRISPR/Casシステムを用いた個体レベルのゲノム編集技術開発と生殖医学研究への応用
上田 泰己	東京大学 大学院医学系研究科 機能生物学専攻 システムズ薬理学分野	教授	全脳イメージング技術を用いた次世代中枢薬理学の創成
河原 行郎	大阪大学 大学院医学系研究科	教授	RNA安定化障害に着目した神経変性疾患発症メカニズムの解明
齊藤 達哉	徳島大学 疾患酵素学研究センター シグナル伝達と糖尿病研究部門	教授	オルガネラを介した自然免疫活性化の分子メカニズムと病態生理的意義の解明
林 克彦	九州大学 大学院医学研究院 応用幹細胞医科学講座 ヒトゲノム幹細胞医学分野	教授	哺乳類卵子の体外産生系を基盤とした卵母細胞形成機構の解明
尾藤 晴彦	東京大学 大学院医学系研究科 神経生化学分野	教授	CREBシグナリングによる神経回路ダイナミクス制御
本田 賢也	慶應義塾大学 医学部 微生物学免疫学教室	教授	ノトバイオートシステムを駆使した機能的腸内細菌種の同定と免疫疾患制御法の開発

7件

生命科学研究助成			
氏名	所属機関	職位	研究題目
井上 邦夫	神戸大学大学院理学研究科 生物学専攻 生命情報伝達	教授	神経RNA顆粒の形成機構と生理機能の解明
岩田 修永	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 ゲノム創薬学研究室	教授	アルツハイマー病の根本的治療を目指したAβの產生と分解を同時に制御する薬剤の開発
榎本 和生	東京大学大学院理学系研究科 生物科学専攻 脳機能学研究分野	教授	神経突起変性の分子遺伝学的研究
岡田 康志	理化学研究所生命システム研究センター 細胞極性統御研究チーム	チームリーダー	高活性化TALEを用いたゲノム構造動態の超解像1分子イメージング
喜多村 和郎	山梨大学大学院総合研究部 医学域 生理学講座 第2教室	教授	大脳シナプス統合メカニズムとその脳情報処理における意義
木村 郁夫	東京農工大学大学院農学研究院 応用生命化学専攻 代謝機能制御学	デニュアトック 特任准教授	生活習慣病予防・治療に向けた食品中成分からの腸内代謝脂質網羅的活性評価系の樹立と応用
清末 優子	理化学研究所ライフサイエンス技術基盤研究センター 生命機能的イメージング部門 生命動態情報研究グループ 細胞動態解析ユニット	ユニットリーダー	格子光シート顕微鏡による細胞分裂装置の機能解剖
日下部 岳広	甲南大学理工学部生物学科	教授	マイクロRNAによる視細胞多様性形成制御
栗崎 晃	産業技術総合研究所幹細胞工学研究センター 幹細胞制御研究チーム	研究チーム長	すい臓がん幹細胞の制御原理の究明
小西 清貴	順天堂大学医学部生理学第一講座	教授	ヒト大脳モジュールを機能単位とした反応抑制神経回路の再構成
佐藤 守俊	東京大学大学院総合文化研究科 広域科学専攻	准教授	遺伝子の光操作技術の創製
高島 康弘	京都大学iPS細胞研究所 初期化機構研究部門 高島研究室	特定拠点講師	安定したナイーブ型ヒトiPS細胞の樹立と維持、そのメカニズムの解明
田中 芳彦	福岡歯科大学機能生物化学講座 感染生物学分野	教授	共生する微生物によって発症する疾患の病態制御機構の解明
十島 二朗	東京理科大学基礎工学部生物工学科 十島研究室	准教授	Gタンパク質共役受容体のエンドサイトーシスによるリサイクリングと分解機構の解明
中川 修	国立循環器病研究センター研究所研究所 分子生理部	部長	BMP-ALK1シグナル伝達系の新規下流遺伝子による心血管形成制御メカニズム
仲嶋 一範	慶應義塾大学医学部 解剖学教室	教授	脳の構造が整然と作られるメカニズムの解明
福田 光則	東北大学生命科学研究科 生命機能科学専攻 膜輸送機構解析分野	教授	LC3結合分子OATL1のオートファゴソーム外膜局在化と分解回避機構の解明
古瀬 幹夫	生理学研究所大脳皮質機能研究系 脳形態解析研究部門	教授	上皮バリア機能を担う細胞間接着の分子機構とその異常による病態の研究
日野 主税	九州大学大学院医学研究院 発生再生医学分野	教授	妊娠前糖尿病における先天性心疾患発症のメカニズムの解析
山下 政克	愛媛大学大学院医学系研究科 免疫学	教授	エネルギー代謝調節を介した免疫システム制御機構の解明
渡辺 賢二	静岡県立大学薬学部 生薬・天然物化学分野	准教授	大腸がんバイオマーカーの確立

21件

ライフサイエンス研究奨励			
氏名	所属機関	職位	研究題目
井手 聖	国立遺伝学研究所 構造遺伝学研究センター 生体高分子研究室	助教	生体分子超過密空間におけるDNA上での素反応を可能とする足場の理解
伊藤 哲	東京大学分子細胞生物学研究所 発生・再生研究分野	准教授	肝臓上皮組織の連続性と不均一性から解き明かす肝再生のメカニズム
井上 武	京都大学大学院理学研究科 生物科学専攻 生物物理学教室 分子発生学講座	特定助教	脳の制御機構解明のための新規モデル動物-プラナリアを究める
今城 正道	京都大学大学院生命科学研究科 生体制御学分野	助教	生体内遺伝子編集技術を用いた腸上皮疾患の新しい研究手法の確立

小田 裕香子	京都大学ウイルス研究所 構造形成学分野	助教	上皮細胞におけるトリセルラージャンクション構築基盤の解明
CARLTON Peter	京都大学物質一細胞統合システム拠点	准教授(独立)	DNA修復におけるDNAヒドロキシメチル化の役割
木矢 剛智	金沢大学理工学域 自然システム学系 生物学コース 発生生物学研究室	特任助教	活動依存的な神経回路マッピング法による昆虫の生得的行動制御メカニズムの解明
日下部 りえ	理化学研究所倉谷形態進化研究室	研究員	複雑な骨格筋の形態パターンを制御するmicroRNA機能の解析
倉林 伸博	東京大学大学院理学系研究科 附属遺伝子実験施設	助教	ダウントン症候群における神経前駆細胞の運命制御機構の破綻
佐藤 明子	広島大学 総合科学研究科 行動科学講座	准教授	複数膜貫通ドメインタンパク質生合成へのEMC機能の解明
佐藤 薫	東京大学大学院理学系研究科 生物科学専攻	助教	piRNA生合成に関与する新規リボスクレアーゼMaelstromの分子作用機序の解明
佐野 大輔	北海道大学大学院工学研究院 環境創生工学部門 木質変換工学研究室	准教授	腸内細菌由来糖鎖が培養細胞へのロタウイルス感染に与える影響に関する研究
柴田 達夫	理化学研究所生命システム研究センター 生命モデリング コア フィジカルバイオロジー研究チーム	チームリーダー	間葉性細胞の集団運動の1細胞解析
島津 忠広	理化学研究所真貝細胞記憶研究室	研究員	リシンメチル化による脂肪酸代謝調節機構の理解
鈴木 卓弥	広島大学大学院生物圏科学研究科 動物資源化学研究室	准教授	亜鉛による消化管恒常性維持の分子基盤と炎症性腸疾患との連関
関田 洋一	北里大学理学部 生物科学科 幹細胞学講座	准教授	エピジェネティック編集技術による疾患モデルマウスの作出とその治療法の開発
立和名 博昭	早稲田大学大学院先進理工学研究科 電気・情報生命専攻 構造生物学研究室	研究院講師	染色体の均等分配を保証するセントロメア領域のクロマチン構造の解析
坪内 知美	基礎生物学研究所幹細胞生物学研究室	准教授	胚性幹細胞(ES細胞)の多能性とゲノム維持機構
西井 宜	理化学研究所横山構造生物学研究室	研究員	レドックススイッチによる、腸内細菌細胞内蛋白質の分解制御
西野 光一郎	宮崎大学農学部 獣医学科 獣医機能生化学研究室	准教授	ヒト幹細胞の正常／がんの境界を規定するエピゲノムネットワークの解析
西村 泰介	長岡技術科学大学工学研究科 生物機能工学専攻	准教授	植物の脱分化・再分化過程におけるDNAメチル化の役割
服部 満	東京大学大学院理学系研究科 化学専攻 分析化学研究室	特任研究員	発光センサーの開発によるオートファジー定量検出法の確立
廣田 耕志	首都大学東京都市教養学部 理工学系 化学コース	教授	染色体構造の非コードRNAによる制御機構の解明
古澤 力	理化学研究所生命システム研究センター	チームリーダー	抗生物質耐性菌の出現を抑制する手法の開発
松井 貴輝	奈良先端科学技術大学院大学バイオサイエンス研究科 遺伝子発現制御研究室	助教	脊椎動物の器官形成機構の理解-ゆらぐ細胞による秩序形成ロジック-
松井 敏高	東北大多元物質科学研究所 タンパク機能解析研究分野	准教授	色素代謝酵素の特殊な機構と反応エッセンスの解明
松尾 朋彦	大阪バイオサイエンス研究所神経機能学部門	上級特別研究員	情動を制御する嗅覚系神経回路
松下 智直	九州大学大学院農学研究院 植物光生理学研究室	准教授	植物の「視覚」における光情報コード化の新奇機構の解析
宮田 暖	九州大学大学院理学研究院 化学部門 生体情報化学研究室	助教	PRELID2によるリン脂質代謝と細胞分化の制御
宮本 崇史	東京大学医科学研究所 シークエンス技術開発分野	特任助教	マルチオミックス解析を用いたp53によるアミノ酸代謝制御機構の解明
村本 哲哉	東邦大学理学部 生物学科 分子発生生物学研究室	講師	発生分化における遺伝子発現動態とゲノム動態の同時イメージング
谷口 俊介	筑波大学生命環境系・下田臨海実験センター	准教授	脳が腸をつくる
山下 高廣	京都大学大学院理学研究科 生物科学専攻 生物物理学系 分子生体情報学分野	助教	脳深部光受容の分子メカニズムと生理的意義
横山 仁	弘前大学農学生命科学部 分子生命科学科 動物生理学教室	准教授	皮膚の完全再生を可能にする皮下組織由来の再生幹細胞の起源の特定

34件

医学系研究奨励

《がん領域・基礎》

氏 名	所 属 機 閣	職 位	研 究 題 目
青木 一洋	京都大学大学院医学研究科 生命動態システム科学推進拠点事業 時空間情報イメージング拠点	特定准教授	分子標的薬の併用によって誘導される細胞死のイメージングと統計解析
生島 弘彬	東京大学生産技術研究所 炎症・免疫制御学社会連携研究部門	特任助教	パターン認識を基軸とした癌免疫機構の解明と応用
泉 浩二	金沢大学大学院医薬保健学総合研究科 がん医科学専攻 がん制御学集學の治療学(泌尿器科)	特任助教	去勢抵抗性前立腺癌におけるcabazitaxel耐性獲得機序の解明
井戸川 雅史	札幌医科大学医学部 附属フロンティア医学研究所 ゲノム医学部門	講師	癌病態の解明と診断応用を目指した癌間連転写因子の標的長鎖非コードRNA探索
稻元 輝生	大阪医科大学 泌尿生殖・発達医学講座 泌尿器科学教室	診療准教授	癌発育制御型microRNA-145の総量回復によるヒト膀胱癌マウス異種同所移植モデル治療
梅村 将就	横浜市立大学医学部医学科 循環制御医学	助教	骨肉腫に対する磁性メトレキセートを用いた新しい治療法の開発
榮川 伸吾	岡山大学 大学院医歯薬学総合研究科 病態制御科学専攻 脳瘍制御学講座 免疫学分野	助教	2型糖尿病薬メホルミンによるT細胞疲弊制御のメカニズム解明とその応用
及川 司	北海道大学大学院医学研究科 生化学講座 分子生物学分野	講師	がん細胞が持つ「上皮記憶」の実態解明
大場 雄介	北海道大学大学院医学研究科 細胞生理学分野	教授	In vivo シングルセルイメージングを用いた分子標的治療耐性克服戦略

尾崎 充彦	鳥取大学医学部 病態生化学分野	准教授	慢性炎症が誘発する大腸発癌規定因子の同定とそれらを標的とした新規予防戦略の構築
門之園 哲哉	東京工業大学大学院生命理工学研究科 生体分子機能工学専攻 生体機能制御工学研究室	助教	T細胞活性化抗体医薬に匹敵するペプチド医薬の創製
兼田 加珠子	大阪大学大学院医学系研究科 薬理学講座 生体システム薬理学	特任助教	細胞内アミノ酸環境制御によるがん増悪機構の解明
木戸屋 浩康	大阪大学微生物病研究所 情報伝達分野	助教	腫瘍血管リモデリングを司る未知の単球サブセットの同定と分子機構の解明
國崎 祐哉	九州大学病院 遺伝子細胞療法部	助教	加齢に伴うニッチ機能変化による発癌機構の解明
黒田 純也	京都府立医科大学大学院医学研究科 血液・腫瘍内科学	講師	BRD4被制御分子の解析による難治性B細胞リンパ腫の新規治療標的分子の探索
坂本 義治	東京大学医科学研究所 人癌病因遺伝子分野	助教	RNA代謝によるがんのストレス応答機構の解明と腫瘍治療への応用
佐久間 圭一朗	愛知県がんセンター研究所分子病態学部	主任研究員	上皮間葉転換が選択的スプライシングの変化を介してがん細胞を悪性化させる機序の解明
佐久間 裕司	札幌医科大学医学部 附属フロンティア医学研究所 分子医学部門	准教授	上皮型、間葉型それぞれの肺腺癌細胞に対する新規治療戦略
佐野 紘平	京都大学医学部附属病院 放射線部	助教	近赤外光照射を用いる腫瘍特異的なセラノスティックスに資する薬剤開発とそのデリバリーシステムの構築
澤田 健二郎	大阪大学大学院医学系研究科 産科学婦人科学教室	講師	腹膜播種形成におけるエクソソームの役割の解明
幣 光太郎	宮崎大学医学部 内科学講座 消化器血液学分野	助教	Calreticulinが関わる造血シグナル伝達機構、およびその破綻による骨髄増殖性腫瘍発症機序の解明
滝澤 仁	熊本大学国際先端医学研究拠点施設 滝澤研究室	準教授	造血幹細胞分裂誘導による効率的骨髄破壊と再建
竹島 秀幸	国立がん研究センター研究所エピゲノム解析分野	研究員	クロマチンリモデリング因子不活化によるエピゲノム不安定性誘発の解明
田沼 延公	宮城県立がんセンター研究所がん薬物療法研究部	主任研究員	発がんストレス・老化ストレス下での好気代謝亢進が、細胞のがん化/悪性化を推進する
常木 雅之	国立がん研究センター研究所腫瘍生物学分野	研究員	希少がん・血管肉腫の病理発生原理:革新的治療戦略基盤の構築
出口 敦子	東京女子医科大学薬理学教室	助教	TLR4内因性リガンドS100A8によるがん微小環境のフィードバック活性化
中畑 新吾	宮崎大学医学部 機能制御学講座 腫瘍生化学分野	助教	ATLにおけるBCL11B遺伝子の発現異常の分子機構とその生理的意義の解明
仲矢 丈雄	自治医科大学大学院医学研究科・医学部 人体病理学部門	講師	In vivo蛋白複合体解析に基づくKLFを軸にした大腸癌制御の解明と治療応用
西山 敦哉	名古屋市立大学大学院医学研究科 細胞生化学	講師	DNAメチル化維持機構の破綻がもたらすゲノム不安定化のメカニズムの解明
BAGHDADI MUHAMMAD	北海道大学遺伝子病制御研究所 免疫生物分野	助教	化学療法(Doxorubicin)抵抗性を獲得した腫瘍細胞が產生する「免疫制御因子」とその下流因子による宿主免疫応答修飾、治療抵抗性、生存率に関する解析
馬場 智久	金沢大学がん進展制御研究所 分子生体応答研究分野	助教	幹細胞抑制因子CCL3を分子標的とした慢性骨髓性白血病の新規治療法の確立
原 敏文	新潟大学医歯学系ウイルス学	助教	長鎖非コードRNA(IncRNA)から読み解く成人T細胞白血病細胞の生存維持機構の解明
藤城 光弘	東京大学医学部附属病院 中央診療部門 光学医療診療部	部長・准教授	新規Wntシグナル制御系を利用した分子標的抗癌剤の開発
松井 啓隆	熊本大学大学院生命科学研究部 臨床病態解析学分野	教授	リボソームRNAプロセシング障害が惹起する造血細胞機能障害の多方面からのアプローチ
松本 孔貴	筑波大学医学医療系 臨床医学城 放射線腫瘍学	助教	葉酸修飾シクロデキストリンND201を用いた新規ホウ素中性子捕捉療法キャリアの開発
三木 貴雄	京都大学大学院医学研究科 生体統御学講座 分子腫瘍学	特定助教	がん抑制遺伝子による概日リズムの制御機構の解明
藪田 紀一	大阪大学微生物病研究所 分子遺伝研究分野	准教授	Hippo経路関連キナーゼLATSによる新たな癌転移制御機構の解明
吉田 健一	京都大学大学院医学研究科 腫瘍生物学	助教	次世代シークエンサーによる骨髄異形成症候群における治療効果予測マーカーの探索

38件

《がん領域・臨床》

青山 徹	神奈川県立がんセンター消化器外科	医長	低酸素かつ低栄養の環境下におかれた膀胱細胞で相乗的に発現誘導する遺伝子の探索
大植 祥弘	川崎医科大学 呼吸器内科学講座	講師	肺癌の免疫微小環境の解析に基づく XAGE1 免疫の耐性機構の解明と克服
尾島 敏康	和歌山県立医科大学外科学第2講座	講師	担癌患者由来人工多能性幹細胞を用いた樹状細胞療法の基礎的研究
窪田 大介	順天堂大学 医学部 整形外科学教室	助教	脱リン酸化酵素機能解析による消化管間質腫瘍(GIST)の新規治療標的の開発
眞田 昌	名古屋医療センター臨床研究センター高度診断研究部	部長	次世代シーケンス技術を活用した小児白血病の診療成績の改善
塚原 智英	札幌医科大学医学部病理学第一講座	講師	骨肉腫幹細胞特異分子の免疫誘導と制御
津谷 康大	広島大学原爆放射線医科学研究所 腫瘍外科	助教	Natriuretic peptideを介するCancer autocrine pathwayの臨床応用
永橋 昌幸	新潟大学大学院医歯学総合研究科 消化器・一般外科学分野	助教	乳癌の代謝動態と薬剤耐性機構における脂質メディエーターの役割
西田 尚弘	大阪大学医学系研究科 消化器癌先進化学療法開発学	寄付講座助教	核酸メチル化修飾を検出する次世代癌バイオマーカーの開発
山本 英一郎	札幌医科大学医学部 消化器・免疫・リウマチ内科学講座 兼 分子生物学講座	助教	大腸発癌フィールド形成に関わるヒストン修飾異常の解明と臨床応用
和田 聰	神奈川県立がんセンター臨床研究所 がん免疫療法研究開発学部	副部長	核内輸送蛋白Importinに対する新規免疫治療の開発及びimmune biomarkerの同定

11件

『精神・神経・脳領域』

相田 知海	東京医科歯科大学難治疾患研究所 分子神経科学分野	助教	強迫的繰り返し行動の神経回路基盤
安藤 香奈絵	首都大学東京理工学研究科 生命科学専攻 神経分子機能研究室	准教授	シナプス前終末のミコンドリア欠乏がオートファジー経路阻害を引き起こすメカニズム
池上 啓介	近畿大学医学部 解剖学教室	助教	哺乳類の松果体セロトニンによる概日リズム制御機構の解明
池田 華子	京都大学医学部附属病院 臨床研究総合センター 網膜神経保護治療プロジェクト	准教授	:加齢黄斑変性に対する病態解明および新規予防治療法の開発
池田 祐一	東京大学医学部附属病院 ユビキタス予防医学講座	特任助教	脳神経核特異的にGPCRのbiased agonismの意義を検証できる実験系の開発
石川 充	慶應義塾大学医学部 生理学教室	特任助教	Angelman症候群患者iPS細胞由来ニューロンのグルタミン酸受容体局在解析
今吉 格	京都大学ウイルス研究所 増殖制御学	特定准教授	新規光遺伝学を用いた神経幹細胞の光操作法の開発と神経疾患治療への応用
江川 潔	北海道大学病院 小児科	医員	自閉症スペクトラムを示すアンジェルマン症候群の認知機能障害メカニズムと治療法の探索
大澤 亮介	広島大学原爆放射線医科学研究所 分子疫学研究分野	助教	Optineurin変異によるALS発症メカニズムの分子基盤の解明
大曾根 親文	理化学研究所多細胞システム形成研究センター 器官誘導研究チーム	リサーチアソシエイト	ヒトES/iPS細胞を用いたGH産生細胞の誘導と機能評価
岡 雄一郎	大阪大学大学院医学系研究科 解剖学講座(神経機能形態学)	助教	ニューロンサブタイプ特異的な脳梁形成機構解明と精神疾患モデルの作出
奥野 龍徳	大阪大学大学院医学系研究科 神経内科学	助教	セマフォリンをターゲットとしたALS治療開発
上澤 裕二	順天堂大学医学部 薬理学講座	助教	GPCR相互作用による痛み伝達の制御
季 炎	放射線医学総合研究所分子イメージング研究センター 分子神経イメージング研究プログラム 脳分子動態チーム	主任研究員	アルツハイマー病の病理形成におけるTSPOの役割およびその機能制御による薬物治療
木塚 康彦	理化学研究所システム糖鎖生物学研究グループ 疾患糖鎖研究チーム	基礎科学特別研究員	バイセクト糖鎖を標的としたアルツハイマー病の新規治療戦略
紀本 創兵	奈良県立医科大学 精神医学教室	助教	社会的経験の剥奪により障害される前頭前野機能の分子基盤の解明
楠本 郁恵	鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 生体機能制御学講座 統合分子生理学分野	助教	島皮質が餌予測行動を引き起こす神経回路メカニズムの研究
小早川 令子	大阪バイオサイエンス研究所神経機能学部門	研究部長	先天的と後天的な恐怖情動の拮抗的制御を担う分子機構の解明
斎藤 将樹	東北大学大学院医学系研究科 分子薬理学分野	助教	神経前駆細胞の分化制御機構に関する新展開
佐藤 裕康	山形大学医学部第三内科	助教	パーキンソン病のα-シヌクレイン異常凝集におけるSer129リン酸化の役割の解明
佐野 良威	富山大学医学薬学研究部(医学) 生化学講座	特命助教	記憶形成における海馬-大脳皮質相互作用機構の解明
澤田 雅人	名古屋市立大学大学院医学研究科 再生医学分野	助教	移動する新生ニューロンの停止位置調節における嗅覚入力の役割
篠田 友靖	名古屋大学大学院医学系研究科 細胞生物学分野	助教	神経幹細胞集団の動態・形態から問う大脳皮質形成機構
柴崎 貢志	群馬大学大学院医学系研究科 分子細胞生物学	准教授	神経興奮を調節するアストロサイト亞種が有する分子的な特色
島村 宗尚	大阪大学大学院医学系研究科 健康発達医学講座	寄附講座准教授	脳梗塞におけるRANKLペプチド療法の開発と慢性期免疫抑制機構の機序解明
鈴木 将貴	慶應義塾大学医学部解剖学教室	特任助教	エネルギー代謝と神経伝達物質の合成制御
竹本(木村) さ	東京大学大学院医学系研究科 神経生化学	講師	脳発生期の柔軟な大脳皮質形成を支えるカルシウムシグナリングの解明
茶屋 太郎	大阪大学蛋白質研究所 分子発生学研究室	特任研究員	内耳における纖毛の異常による聴覚障害発症メカニズムの解明
寺島 智也	滋賀医科大学生化学・分子生物学講座 再生修復医学部門	准教授	筋萎縮性側索硬化症における骨髓由来ミクログリアの神経保護作用への誘導
中津 史	新潟大学医歯学総合研究科 分子細胞機能学分野	准教授	エンドサイトーシス機能異常による新規パーキンソン病・分子病態の解析
中村 望	兵庫医科大学生理学生体機能部門	助教	光遺伝学的調息による恐怖記憶の消去効果
藤本 千里	東京大学大学院医学系研究科 外科学専攻 感覚・運動機能医学講座 耳鼻咽喉科学分野	助教	経皮的ノイズ様前庭電気刺激の前庭障害患者における歩行改善効果に関する研究
船山 学	順天堂大学大学院医学研究科 老人性疾患病態・治療研究センター	准教授	新規パーキンソン病原因遺伝子CHCHD2の病態機序解明
堀内 泰江	東京都医学総合医研究所精神行動医学研究分野 統合失調症・うつ病プロジェクト	主席研究員	患者由来神経系細胞における統合失調症の分子病態解析
松本 弦	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 医療科学専攻 生命医科学講座 形態制御解析学分野	講師	神経老化による神経変性疾患の発症機構の解明
水足 邦雄	防衛医科大学校耳鼻咽喉科学講座	講師	耳鳴発症・増悪における聴覚伝導路と大脳辺縁系の関連
水野 秀信	国立遺伝学研究所個体遺伝研究系・形質遺伝研究部門	助教	大脳皮質神経回路形成メカニズムの新生仔生体イメージングによる解析
宮田 淳	京都大学大学院医学研究科 脳病態生理学講座(精神医学)	講師	推論のヒューリスティクスと、機能的・構造的コネクティビティ解析による妄想の生成・維持機構の解明
森下 登史	福岡大学医学部 脳神経外科	講師	機能画像とNeuromodulationによる脳卒中慢性期運動障害発症機序の解明と臨床応用
吉田 知之	富山大学大学院医学薬学研究部(医学) 分子神経科学講座	准教授	インターロイキン-1及びその受容体による神経細胞間シナプス形成の調節
劉 磊	滋賀医科大学分子神経科学研究センター 認知症研究分野	特任助教	脳内Aβ産生を制御する新規分子ILEIに基づくアルツハイマー病の先制医療
若林 朋子	東京大学大学院医学系研究科 神経病理学分野	助教	膜貫通型コラーゲンの運動ニューロン軸索発達制御ならびに疾患における機能の解明

《基礎》

浅田 梨絵	広島大学大学院医歯薬保健学研究院 分子細胞情報学	日本学術振興会 特別研究	褐色脂肪細胞の小胞体ストレス応答制御による肥満症治療の基盤構築
浅野 豪文	東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科 細胞生物学分野	助教	細胞内オプトジェネティクスによる分化可塑性の制御
石亀 晴道	理化研究所統合生命医科学研究センター 組織動態研究チーム	研究員	新規レポーターマウスを用いた記憶濾胞性ヘルパーT細胞の動態解析
石黒 啓一郎	慶應義塾大学医学部 坂口記念システム医学講座	特任講師	胚性幹細胞・着床前初期胚と生殖細胞における染色体動態の比較に関する研究
伊豆 弥生	東京医科歯科大学難治疾患研究所 分子薬理学分野	助教	骨粗鬆症病態を規定する骨質の非線維性コラーゲンによる制御
泉 幸佑	東京大学分子細胞生物学研究所 ゲノム情報解析研究分野	助教	転写伸長反応異常による先天異常症候群病態メカニズムの解明
泉 裕一郎	熊本大学医学部附属病院 腎臓内科	非常勤診療医師	慢性腎不全におけるNFAT5の役割の解明
井上 直和	福島県立医科大学医学部 附属生体情報伝達研究所 細胞科学研究部門	准教授	哺乳類の配偶子を融合させる膜因子群の分子環境とその機構
今西 哲	東京医科大学 医学総合研究所 分子腫瘍研究部門	助教	クロマチン制御とDNA修復のリンクにおけるBETファミリーの役割の解明
入江 直樹	東京大学大学院理学系研究科 生物科学専攻 動物発生学教室	准教授	母児間マイクロキメリズムと先天異常発症
内田 邦敏	生理学研究所岡崎統合バイオサイエンスセンター 細胞器官研究系 細胞生理研究部門	助教	褐色脂肪組織におけるTRPチャネルの生理的役割の解明
内田 智士	東京大学大学院医学系研究科 附属疾患生命工学センター 臨床医工学部門	特任助教	mRNA導入3次元スフェロイド細胞移植による虚血性疾患の治療
遠藤 仁	慶應義塾大学医学部 循環器内科	助教	加齢性骨格筋萎縮におけるプロレンイン受容体-Wntシグナル経路を介した新規分子機構の解明および治療戦略の創出
大海 雄介	名古屋大学大学院医学系研究科 分子細胞化学	特任助教	自己抗体IgG上のシアル酸リモデリングによる関節リウマチの新規治療法の探索
大塚 篤司	京都大学大学院医学研究科 皮膚科学講座	助教	アトピー性皮膚炎における搔痒の可視化とメカニズム解明
大東 いずみ	徳島大学疾患プロテオゲノム研究センター 遺伝子実験施設	特任助教	胸腺上皮細胞亜集団分化機構の研究
岡田 英志	岐阜大学大学院医学系研究科 救急災害医学分野	併任講師	心筋細胞特異的ホーミングペプチドを用いた新規心不全治療の開発
岡村 永一	徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部 総合研究支援センター 動物資源研究部門	助教	新規Y染色体変形技術の開発と雄性特異的ゲノム機能解析
沖米田 司	関西医学院大学理工学部 生命科学科 生命医化学専攻 沖米田研究室	准教授	閉塞性肺疾患原因膜タンパク質の選択的エンドサイトーシス機構の解明
加藤 大樹	九州大学歯学研究院 口腔保健推進学講座 小児口腔医学分野	助教	ミトコンドリア分裂異常からみた老化にともなう象芽細胞の機能障害機構の解明
上村 大輔	北海道大学遺伝子病制御研究所 分子神経免疫学	助教	機能性代謝産物による慢性炎症制御機構の解明
河尾 直之	近畿大学医学部 再生機能医学教室	講師	メカニカルストレスによって誘導される筋と骨のネットワーク機構の骨粗鬆症における役割の解明
桑原 康秀	京都大学大学院医学研究科 地域医療システム学講座 循環器内科学	特定助教	肥大刺激により誘導されるlincRNAの心臓と骨格筋における機能解析
香城 諭	理化研究所統合生命医科学研究センター 免疫制御戦略研究グループ	上級研究員	NKT細胞の系列決定/維持に関わるNKT細胞受容体V α 14J α 18遺伝子発現制御機構の解明
河野 大輔	群馬大学先端科学研究指導者育成ユニット 先端医学・生命科学研究チーム 河野研究室	助教	環境要因に由来する肥満の発症機序の解明
古賀 友紹	順天堂大学大学院医学研究科 生化学・細胞機能制御学	助教	好中球-樹状細胞間相互作用における脂質メディエーターの免疫学的解析
小林 俊彦	国立国際医療研究センター研究所分子炎症制御プロジェクト	副プロジェクト長	リソーム環境が担うマスト細胞の分化成熟と機能制御機構
榎原 伊織	愛媛大学プロテオサイエンスセンター 病態生理解析部門	助教	アンドログンによる骨格筋増強作用機構の解明
櫻井 千恵	鳥取大学医学部 生命科学科 分子生物学	助教	ファゴサイトーシスにおけるVAMP5の新奇機能解明
清水 宣明	東京大学医科学研究所 附属病院 アレルギー免疫科	特任研究員	貯蔵エネルギーの選択的利用機構の解明と新規抗肥満療法・生活習慣病治療法の開発
菅原 文昭	兵庫医科大学教養部門 生物学教室	講師	円口類を用いた、脊椎動物における対鼻化の進化発生学的解析
杉島 正一	久留米大学医学部 医学科 医化学講座	准教授	NADPH-シトクロムP450還元酵素からヘムオキシゲナーゼへの電子伝達機構解明
瀬尾 欣也	自治医科大学分子病態治療研究センター 分子病態研究部	助教	力学的ストレス応答の光解析による心不全および不整脈合併症の理解と制御
高島 誠司	信州大学繊維学部 応用生物科学系 生物機能科学講座	テニュアトラック助教	精子幹細胞システム老化の原因が内分泌系機能低下によるものかを検証する
武田 憲文	東京大学医学部附属病院 循環器内科 307研	助教	成体心筋細胞の内因性增幅機序の解明と制御に向けた研究
竹藤 幹人	名古屋大学医学部附属病院 循環器内科	病院助教	心疾患とGタンパク質共役受容体
田尻 和子	筑波大学医学医療系 循環器内科	助教	心筋自己抗原に対するトレランスの破綻がもたらす心筋炎の慢性化機構の解明
田中 繁	千葉大学医学部附属病院 アレルギー・膠原病内科	医員	SoxC分子による制御性T細胞分化制御機構に関する研究
竹馬 俊介	京都大学医学研究科 免疫ゲノム医学講座	特定助教(寄付講座)	TRIM28による自己反応性記憶T細胞抑制機構の解析
中畑 泰和	奈良先端科学技術大学院大学バイオサイエンス研究科 遺伝子発現制御研究室	助教	老化進行における概日時計とNAD+代謝の関連性解明
西田 淳史	滋賀医科大学内科学講座 消化器内科	助教	炎症性腸疾患の病態における制御性B細胞の機能および治療応用への基礎検討

仁田 亮	理化学研究所ライフサイエンス技術基盤研究センター ダンパク質機能・構造研究チーム	上級研究員	微小管結合タンパク質CRMP2の軸索微小管誘導・反発の分子機構
秦 勝志	東京都医学総合研究所生体分子先端研究分野 カルバインプロジェクト	主席研究員	カルバインの制御異常による乾癬発症のメカニズム解析
馬場 崇	九州大学医学研究院 分子生命科学系部門 性差生物学講座	助教	核内受容体レギュロンによる代謝リプログラミング機構の解明
平崎 正孝	埼玉医科大学ゲノム医学研究センター 発生・分化・再生部門	助教	Epi幹細胞の維持におけるMyc/Max複合体の機能
福井 一	国立循環器病研究センター研究所細胞生物学部	研究員	一次纖毛を介した心外膜腔内流れストレス受容機構の解明
福嶋 葵子	大阪大学大学院医学系研究科 視覚情報制御学	寄附講座助教	持続性細胞内シグナル活性異常を標的とした重症未熟児網膜症に対する新規治療法の開発
藤田 英俊	東京医科大学医学総合研究所 未来医科学研究寄附講座	講師	血糖調節における小胞体ストレス応答分子の機能解析
細川 健太郎	九州大学大学院医学研究院 幹細胞再生修復医学分野	助教	テロメア結合性因子による造血幹細胞の体外増幅技術の開発
細道 一善	金沢大学医薬保健研究域医学系 革新ゲノム情報学分野	准教授	創薬応用を目指したTCRレバトア-プロファイリング技術確立
松井 美紀	東北大学大学院医学系研究科 生物化学分野	助教	ヘムによる天然変性タンパク質Bach2の相互作用調節と生理学的意義の解明
溝口 利英	松本歯科大学総合歯科医学研究所	講師	骨髓間葉系幹細胞を制御する微小環境の解析
宮崎 正輝	京都大学再生医科学研究所 再生免疫学分野	助教	制御性T細胞における転写制御機構の解明とアレルギー性疾患の制御について
閔 莉娟	愛媛大学大学院医学系研究科 分子心血管生物・薬理学分野	助教	血管老化におけるアンジオテンシンIIとmicroRNAの関連についての検討
茂谷 康	徳島大学藤井節郎記念医科学センター 細胞情報学分野	助教	新規環状ジヌクレオチドcGAMPが誘導する炎症シグナルと関節リウマチの発症機序の解明
森田 強	大阪大学医学系研究科 神経遺伝子学	助教	thymosin-β4の分子機能解析と関連疾患における役割
八木 良二	千葉大学大学院医学研究院 免疫発生学教室	特任准教授	Th9細胞分化の制御機構の解明
山下 俊一	新潟大学大学院医歯学総合研究科 機能制御学分野	特任助教	低酸素誘導性ミトコンドリア分解の分子機構と生理的意義
山根 利之	三重大学大学院医学系研究科 幹細胞発生学分野	准教授	直接リプログラミング法による血液細胞作製技術の開発
山水 康平	京都大学iPS細胞研究所 増殖分化機構研究部門 幹細胞分化制御学分野	特定拠点助教	体外でのiPS細胞由来血液脳関門モデルの構築
山本 雄広	慶應義塾大学医学部 医化学教室	講師	オルガネラ間の代謝連携を標的とした新しいエネルギー代謝制御の試み
吉田 陽子	新潟大学大学院医歯学総合研究科 循環器内科学 先進老化制御学講座	特任助教	褐色アディポカインによる線維化促進機構の解明
李 知英	東京医科歯科大学難治疾患研究所 エピジェネティクス分野	プロジェクト講師	遺伝的スクリーニングに有効な1倍体ES細胞の安定的培養法の開発

63件

『臨床』

秋枝 さやか	宮崎大学フロンティア科学実験総合センター	助教	マクロファージ由来の生理活性物質を介した新たな脂肪蓄積抑制機構の解明
石川 泰輔	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 分子生理学	助教	網羅的遺伝子解析による家族性心房性不整脈の原因遺伝子と分子病態の解明
氏家 英之	北海道大学病院 皮膚科	助教	自己免疫性水疱症における末梢性自己免疫寛容破綻の機序の解明と治療応用
大谷 健太郎	国立循環器病研究センター研究所再生医療部	研究員	周産期心筋症の発症機序解明と新規治療法開発
緒方 蘭歌	名古屋大学大学院医学系研究科 心臓外科学	研究員	間葉系幹細胞由来エクソソームによる大動脈瘤治療の臨床応用を目指した研究
岡田 淳志	名古屋市立大学大学院医学研究科 腎・泌尿器科学分野	講師	尿路結石形成機序の解明と新規診断・治療薬への臨床応用
岡田 季之	久留米大学医学部医学科 免疫学教室	助教	クローン病患者特異的に変化する細胞集団が病態形成へ与える影響の解明
奥田 真一	山口大学医学部附属病院 第二内科	助教	肥大型心筋症におけるリアノジン受容体安定化による新しい分子標的療法の開発
小野寺 智洋	北海道大学大学院医学研究科 整形外科学分野	講師	人工膝関節置換術患者の荷重免荷型トレッドミルにおける三次元歩行計測
片岡 雅晴	慶應義塾大学医学部 循環器内科 先進肺高血圧治療学講座	特任講師	肺高血圧症における長鎖非コーディングRNAの機能の解明
金井 孝裕	自治医科大学小児科学講座	講師	新たな検査装置による腎病理診断法の確立—細径ファイバー・超高周波数超音波顕微鏡によるアプローチ—
桐野 洋平	横浜市立大学大学院医学研究科 病態免疫制御内科 病態免疫制御内科学	助教	全ゲノムシーケンスを用いた炎症性疾患における遺伝子異常検出と治療法の予測
栗原 熱	慶應義塾大学医学部 腎臓内分泌代謝内科	専任講師	ミネラルコレチコイド受容体関連高血圧におけるCASZ1の意義
酒井 克也	金沢大学がん進展制御研究所 腫瘍動態制御分野	助教	ペプチド性人工HGFによる再生医薬の開発
佐藤 裕樹	新潟大学医歯学総合病院 消化器内科	医員	Eosinophilic esophageal myositisの病態解明
清水 晶	群馬大学皮膚科	講師	転写因子GATA2遺伝子変異による多発性疣贅発症メカニズム
庄司 拓平	埼玉医科大学眼科	講師	長波長高解像光干渉断層計の臨床応用と視神經乳頭篩状板疾患の病態解明
鈴川 真穂	国立病院機構東京病院臨床研究部 生化学研究室／薬理研究室	室長	好酸球特異的Siglec-8を標的とした新規アレルギー治療法の確立
高木 優樹	東京都立小児総合医療センター内分泌代謝科	医員	全ゲノムエクソン配列解析による先天性下垂体機能低下症新規責任遺伝子の同定

多田 隼人	金沢大学附属病院 救急部・循環器内科	助教	原発性重症高トリグリセリド血症新規原因分子の網羅的探索とその機能解析
鳴海 覚志	慶應義塾大学医学部 小児科学教室	特任助教	新規の稀少難治性疾患MIRAGE症候群の分子病態解明に関する研究
西尾 美和子	国立国際医療研究センター 研究所疾患制御研究部	上級研究員	ヒト多能性幹細胞由来褐色脂肪細胞を用いた新規糖尿病治療薬の開発
平野 佳男	名古屋市立大学大学院医学研究科 視覚科学	講師	Fasリガンドを介したアポトーシス制御による加齢黄斑変性の新規治療法開発
藤原 なほ	順天堂大学医学部 小児外科学	助教	腸管神経系におけるガイダンス因子の役割解明とヒルシュスブルング病への新規再生医療の開発
増田 広夫	大阪大学心臓血管外科	特任准教授	iPS心筋の臨床応用へ向けた造腫瘍性回避技術の新規開発
築場 広一	東京慈恵会医科大学 皮膚科学講座	講師	アトピー性皮膚炎におけるB細胞異常の解析と治療への応用
山田 洋平	慶應義塾大学 病院 小児外科	助教	腸管リンパ球ホーミング制御に着目したカニクイザル小腸移植—ヒト小腸移植免疫抑制プロトコールの最適化を目指して
山本 英一郎	熊本大学医学部附属病院 循環器内科	助教	肺動脈性肺高血圧症に対する新しい治療戦略確立へのトランスレーショナル・リサーチ
吉崎 歩	東京大学大学院医学系研究科・医学部 皮膚科学	講師	抗原特異反応からみた全身性強皮症の病態解明と新規治療法の開発
吉元 千陽	奈良県立医科大学産婦人科学教室	助教	近赤外線を用いた鉄測定により子宮内膜症の悪性化を早期に予測する新規検査法の確立

30件

『感染症』

石井 洋	国立感染症研究所エイズ研究センター 第一研究グループ	研究員	サルエイズモデルにおいて逃避変異に対し交差反応性を示す細胞性免疫応答動態の解析
石橋 大輔	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 感染分子解析学	助教	病原体ブリオンに対する宿主自然免疫応答をアプローチとした感染病態の解明
神谷 宣	大阪大学微生物病研究所 感染症国際研究センター 臨床感染症学研究グループ	特任准教授	致死性コロナウイルスの遺伝子操作系とマウスモデルの確立による病態解明
金城 雄樹	国立感染症研究所真菌部第三室(免疫制御研究室)	室長	NKT細胞活性化を介する抗体産生誘導及び肺炎球菌感染防御機構の解析
後藤 義幸	東京大学医科学研究所 国際粘膜ワクチン開発研究センター	特任准教授	病原性微生物感染におけるフコシル化上皮細胞の役割と誘導機構の解明
小林 邸介	東京大学医科学研究所 感染・免疫部門 宿主寄生体学分野	助教	単純ヘルペスウイルスの成熟過程を阻害する宿主miRNAの研究
鈴木 志穂	東京大学医科学研究所 細菌感染生物学社会連携研究部門	特任助教	病原細菌感染におけるインフラマソーム活性化の分子メカニズム
武内 寛明	東京医科歯科大学医歯学総合研究科 ウィルス制御学	助教	革新的な抗ウイルス戦略をめざした新規HIV感染制御因子群の機能解析
田中 智久	山梨大学医学工学研究部 医光学域 微生物学講座	助教	C型肝炎ウイルスによる宿主RNAの動態制御機序と病原性発現機構の解明
谷 英樹	国立感染症研究所ウイルス第一部	主任研究官	新規ブニヤウイルスの侵入に関わる分子の同定とその相互作用の解明
中津 祐一郎	国立感染症研究所ウイルス第三部	主任研究官	麻疹ウイルスRNA合成に関与する宿主因子の同定
橋口 隆生	九州大学医学研究院 ウィルス学	助教	ムンプスウイルスの細胞侵入メカニズムの解明
平川 秀忠	群馬大学先端科学研究指導者育成ユニット 先端医学・生命科学研究チーム 医学・生命科学分野	助教	尿路病原性大腸菌のマイクロコロニー形成誘導機構の解明
馬 知秀	大阪大学免疫学フロンティア研究センター 免疫寄生虫学教室	特任助教	分泌性病原性因子によるトキソプラズマ原虫の宿主変換機構の解明
前川 知樹	新潟大学医歯学総合研究科 高度口腔機能教育研究センター	助教	Del-1の分子メカニズム解析に基づくKeystone細菌制御の研究
政木 隆博	国立感染症研究所ウイルス第二部	主任研究官	C型肝炎ウイルスによる宿主マイクロRNA機能の抑制と新規肝発癌機構
宮崎 泰可	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 感染免疫学講座 臨床感染症学	講師	難治性真菌感染症の克服を目指した新規治療戦略の開発
矢幡 一英	長崎大学熱帯医学研究所 原虫学分野	助教	マラリア原虫のカルシウム調節機構の解明と阻害剤評価法の開発
山本 大介	自治医科大学感染・免疫学講座 医動物学部門	助教	唾液腺での細胞死誘導系を用いた吸血・マラリア伝播に関わるハマダラカ由来唾液物質の解析

19件

『医学系研究奨励継続助成』

『生活習慣病』

氏 名	所 属 機 関	職 位	研 究 題 目
市川 朝永	宮崎大学医学部 機能制御学講座 腫瘍生化学分野	助教	がん抑制遺伝子NDRG2はAKT活性を調節して循環器疾患発症に関与する
佐藤 公雄	東北大学医学系研究科 循環器内科	准教授	新しい酸化ストレス増幅機構に着目した心筋梗塞発症予防と心不全治療法の開発
菅波 孝祥	東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科 臓器代謝ネットワーク講座	特任教授	新しいNASH・肝細胞癌モデル動物を用いた臓器代謝ネットワークの分子機構の解明
宮崎 拓郎	昭和大学医学部 生化学講座	助教	カルバインシステムによる細胞内タンパク質プロセシングを介する腹部大動脈瘤発症機構の解明

4件

『精神・神経・脳領域』

掛川 渉	慶應義塾大学医学部 生理学I教室	専任講師	新規分泌性シナプス分子による小脳神経回路形成制御機構の解明
------	------------------	------	-------------------------------

七田 崇	慶應義塾大学医学部 微生物学免疫学教室	助教	組織由来内因性因子による炎症制御機構の解明
高橋 弘雄	奈良県立医科大学先端医学研究機構 脳神経システム 医学科学分野	助教	脳梗塞モデルマウスを用いた神経回路修復機構の解明と治療への応用
田中 謙二	慶應義塾大学医学部 精神・神経科学教室	特任准教授	脳深部神経活動計測の開発とうつ状態における側坐核活動の全容解明
松井 広	東北大学大学院医学系研究科 新医学領域創生分野	准教授	虚血性脳機能障害の進行をグリア光操作により回避する方法の開発
松田 憲之	東京都医学総合研究所蛋白質リサイクルプロジェクト	副参事研究員	パーキンソン病発症の鍵を握るミトコンドリア品質管理

6件

《基礎》

篠原 美都	京都大学大学院医学研究科 遺伝医学講座 分子遺伝学教室	助教	精子幹細胞の試験管内アッセイ系の開発
柴田 淳史	群馬大学 先端科学研究指導者育成ユニット	助教	MRE11阻害剤を用いた放射線療法増感方法の開発とその作用機序の解明
高橋 秀尚	北海道大学大学院医学研究科 生化学講座 医化学分野	講師	新規の転写伸長制御因子Med26と腫瘍性疾患との関わりについての研究
中沢 由華	長崎大学原爆後障害医療研究所 ゲノム機能解析部門 ゲノム機能修復学研究分野	助教	紫外線感受性症候群責任遺伝子UVSSAの機能解析
西川 恵三	大阪大学免疫学フロンティア研究センター 免疫細胞生物学	准教授	破骨細胞のエピジェネティック制御の解明と創薬研究への応用
西山 伸宏	東京工業大学資源化学研究所	教授	がんの治療抵抗性の克服を目指したドラッグデリバリー系統の研究開発
原田 浩	京都大学医学部附属病院 放射線治療科	特定准教授	がん細胞の低酸素適応応答と治療抵抗性を担う新規遺伝子の同定と作用機序の解明

7件

《臨床》

大島 茂	東京医科歯科大学消化器内科 消化器病態学	助教	リンパ球におけるオートファジー制御による腸炎治療法開発
塙田 真己	九州大学大学院医学研究院 泌尿器科学分野	助教	去勢誘発性酸化ストレスシグナルを標的とした前立腺癌の治療戦略
能正 勝彦	札幌医科大学消化器・免疫・リウマチ内科	講師	消化器癌の新規バイオマーカーとしてのグローバルDNAメチル化の重要性とmicroRNA発現の解析

3件

《感染症》

佐藤 佳	京都大学ウイルス研究所 ウィルス病態研究領域	助教	新規作用機序を有する抗HIV薬の探索とin vivo評価系の確立
八尋 錦之助	千葉大学医学研究院 病原細菌制御学	准教授	腸管出血性大腸菌の産生する小胞体ストレス誘導型毒素SubABによるオートファジー抑制機構の解明

2件

薬学系研究奨励

氏名	所属機関	職位	研究題目
芦野 隆	昭和大学薬学部 生体制御機能薬学講座 毒物学部門	助教	酸化ストレス応答系を標的とした血管リモデリング制御機能の解明と動脈硬化進展抑制への応用
穴田 仁洋	北海道大学大学院薬学研究院 薬品製造化学生研究室	准教授	新規複核金属錯体触媒の創製を基盤とする複素環化合物の不斉合成法の開発
岩尾 岳洋	名古屋市立大学大学院薬学研究科 臨床薬学分野	講師	薬物動態学的機能の向上を目指したヒトiPS細胞由来腸管上皮細胞の作製
上田 篤志	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 分子創薬科学講座 薬化学分野	テニュアラップ ク助教	架橋ペプチドによる不斉有機分子触媒反応の開発と生物活性化合物のde novo合成への応用
大山 要	長崎大学医歯薬学総合研究科 健康薬科学講座	准教授	自己免疫疾患の抗原特異的治療法の開発:疾患特異的な免疫複合体の形成阻害
岡田 正弘	東京大学大学院薬学系研究科 分子薬学専攻 天然物化学教室	准教授	翻訳後修飾によるトリプトファンのイソプレニル化の機能解明研究
小坂田 文隆	名古屋大学大学院創薬科学研究科 細胞薬効解析学分野	講師	網膜情報処理における新規抑制性神経回路の解明
尾花 理徳	大阪大学大学院薬学研究科 臨床薬効解析学分野	助教	慢性腎臓病治療法開発に向けた新規バイオマーカー及び治療ターゲットの探索
鹿毛一中台 枝里子	大阪市立大学 複合先端研究機構 中台(鹿毛)研究室	テニュアラップ ク特任准教授	液体浸透圧ホメオスタシスにおけるニューロン-グリア相互作用
笠井 淳司	大阪大学大学院薬学研究科 神経薬理学分野	助教	精神疾患の治療戦略に資する、情動障害に関わるメソスコピック神経回路の全脳解析
片桐 文彦	東京薬科大学薬学部病態生化学教室	助教	生理活性ペプチドを指標としたHPG軸調整機構の解明
加藤 裕教	京都大学薬学研究科 神経機能制御学分野	准教授	エフリン受容体シグナルの破綻による腫瘍悪性化の新たな分子基盤の探索
金子 雅幸	広島大学大学院医歯薬保健学研究院 分子細胞情報学	准教授	腎臓に特異的に発現する膜貫通型ユビキチンリガーゼの生理機能解明
金子 雪子	静岡県立大学薬学部 薬学科 薬理学分野	助教	β 細胞量減少抑制効果を示す脂質代謝制御機構を応用した新規糖尿病治療薬の開発
神野 伸一郎	岡山大学大学院医歯薬学総合研究科(薬) 精密有機合成化学分野	准教授	細胞内金属イオンの濃度マッピングを指向した新規1分子フルカラー発光团の開発
亀井 敬泰	神戸学院大学薬学部 薬物送達システム学研究室	助教	インクレチン点鼻投与を基盤とする進行性アルツハイマー病薬物療法の開発
川原 浩一	新潟薬科大学薬学部 薬効薬理学研究室	准教授	脳機能発現におけるミクログリア多様性の分子機構の解明

北川 大樹	国立遺伝学研究所分子遺伝研究系中心体生物学研究部 門	教授	中心体の構造的-機能的分子基盤の解析: 中心体不活性化を作用機序とした抗がん剤創薬へ向けて
久保 義行	富山大学大学院医学薬学研究部(薬学) 薬剤学研究室	准教授	組織閑門における塩基性薬物吸排制御機構の解明
小橋川 敬博	熊本大学大学院生命科学研究部(薬) 生命分析化学分野	准教授	ゲートキーパー変異体チロシンキナーゼによる薬剤耐性の分子基盤の解明
坂元 政一	九州大学 大学院薬学研究院 生薬学分野	助教	Pictet-Spengler反応触媒抗体の作製及び効率的なスクリーニング法の開発
佐々木 拓哉	東京大学大学院薬学系研究科 薬品作用学教室	助教	グリア機能変容を起点とした虚血性神経細胞死の発症機構の解明
重久 浩樹	武藏野大学薬学部 薬化学研究室	助教	強力かつ選択性オレフィンの活性化機構を基盤にした新規触媒的環化反応の開発
清水 太郎	徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部 総合薬学研究推進室	特任助教	辺縁帯B細胞を用いたがん免疫治療
白石 充典	九州大学大学院薬学研究院 蛋白質創薬学分野	助教	安定化抗原粒子の作製による抗GPCR機能性抗体の高効率取得への試み
高田 龍平	東京大学医学部附属病院 薬剤部	講師/第一副 部長	トランスポーターによる血清尿酸値制御機構の解析
武上 茂彦	京都薬科大学薬品分析学分野	准教授	新規脂質ナノ粒子発光デバイスによる疾患マーカーの戦略的超高感度計測システムの開発
武富 芳隆	東京都医学総合研究所生体分子先端研究分野 脂質代謝プロジェクト	主席研究員	細胞外リン脂質代謝を基軸とした皮膚バリア恒常性の維持機構の解明
塙野 千尋	京都大学大学院薬学研究科 薬品分子化学分野	講師	ユズリハアルカロイドdaphniyunnine類の不斉全合成
塙本 宏樹	東北大学大学院薬学研究科 がん化学療法薬学分野	助教	不活性なTLR4二量体構造の誘導を作用機序としたdiabody型敗血症治療薬の創製
月本 光俊	東京理科大学薬学部 薬学科 月本研究室(放射線生命科学)	講師	放射線によるがん細胞高悪性度プロファイル獲得メカニズムの解明
中村 浩之	千葉大学大学院薬学研究院 薬効薬理学研究室	助教	セラミドキナーゼによる中枢神経系機能調節機構の解明
浜本 洋	東京大学大学院薬学系研究科 微生物薬品化学教室	助教	宿主因子によって活性促進される抗生物質のメカニズム解析
檜井 栄一	金沢大学医薬保健研究域 薬学系薬物学研究室	准教授	間葉系幹細胞系ニッチのmTORシグナル調節による白血病の病態制御
福田 隆志	北里大学薬学部 微生物薬品製造学教室	助教	Citridone 類は MRSA の黄色い鎧をはがす
福地 守	富山大学大学院医学薬学研究部(薬学) 分子神経生物学	助教	BDNF遺伝子発現誘導能を指標とした脳機能改善薬候補薬の探索
古田 和幸	岡山大学大学院医歯薬学総合研究科(薬学系) 生体応答制御学分野	准教授	樹状細胞の抗原提示を制御する小胞輸送機構の解明
前田 和哉	東京大学大学院薬学系研究科 分子薬物動態学教室	講師	胆汁酸トランスポーターOst α / β が医薬品の消化管吸収に占める寄与の解明
松本 健次郎	京都薬科大学病態薬科学系薬物治療学分野	助教	炎症性細胞や血管内皮細胞に高発現するTRPチャネルを標的とした炎症性腸疾患の治療
山口 英士	岐阜薬科大学創薬化学大講座 合成薬品製造学研究室	助教	新奇ラジカル種の発生方法を鍵とした複雑分子の迅速合成法の開発
山崎 寛之	東北薬科大学薬学部 天然物化学教室	助教	休眠合成遺伝子の発現に関わる新しいエピジェネティック因子の探索と新規糸状菌二次代謝産物生産への応用
渡邊 裕之	京都大学大学院薬学研究科 病態機能分析学分野	特定助教	アルツハイマー病の早期診断・治療に資するセラノスティクスプローブの開発

42件

薬学系研究奨励継続助成

氏名	所 属 機 関	職 位	研 究 題 目
五十嵐 信智	星薬科大学薬学部	助教	便秘症の発生における大腸アカボリン3の役割とメカニズムの解析
石田 竜弘	徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部 薬物動態制御学分野	教授	核酸医薬デリバリーにおける自然免疫活性化機構の解明とその制御
井上 剛	岡山大学大学院医歯薬学総合研究科(薬学系) 生体物理化学教室	准教授	シナプス標的型ケミカルバイオロジーによる難治性てんかん制御剤の開発
大石 真也	京都大学薬学研究科 医薬創成情報科学専攻 薬品有機製造学分野	講師	ペプチド性二次代謝産物の効率的合成法の開発と創薬展開
鈴木 孝頼	京都府立医科大学大学院医学研究科 医薬品化学	教授	タンパク質のメチル化を制御する低分子化合物の創製と抗がん剤への応用
高橋 忠伸	静岡県立大学薬学部 生化学分野	講師	画期的インフルエンザウイルス粒子形成阻害剤の開発

6件

特定研究助成

代表申請者	研 究 機 関	職 位	研 究 題 目
松尾 純	大阪府立母子保健総合医療センター	部長	先天性疾患の病態発症機構の解明と診断治療法の開発
永田 和宏	京都産業大学	教授	細胞機能発現制御におけるオルガネラ恒常性とクロストークの重要性
岩井 一宏	京都大学	教授	新規ユビキチン修飾によるNF- κ B、細胞死制御機構とその制御薬の開発
赤司 浩一	九州大学	教授	がん幹細胞の可塑性・柔軟性を制御する分子基盤の解明
夏目 徹	産業技術総合研究所	センター長	超高感度質量分析技術を用いた細胞プロファイリングシステムの開発
横溝 岳彦	順天堂大学	教授	難治性皮膚潰瘍治療薬としてのBLT2作動薬

鍋島 陽一	先端医療振興財団	センター長	子供の発達原理の解明に基づく発達障害の理解と治療介入に関する研究
柳沢 正史	筑波大学	機構長・教授	睡眠覚醒制御機構の解明
駒田 雅之	東京工業大学	教授	ユビキチン修飾系の破綻による腫瘍形成機構の解明とその医学的応用
安友 康二	徳島大学	教授	自己免疫疾患の成因解明研究

10件

ピジョナリーリサーチ助成

氏名	所属機関	職位	研究題目
石井 優	大阪大学大学院医学系研究科・生命機能研究科 免疫細胞生物学教室	教授	破骨細胞による血管石灰化の治療
板倉 英祐	千葉大学大学院融合科学研究科 ナノサイエンス専攻ナノバイオロジーコース 細胞機能制御研究室	助教	ホルモン分解の意義
猪子 誠人	愛知県がんセンター研究所腫瘍医化学部	主任研究員	中心体に着眼した多細胞組織の階層原理開拓
大川 宜昭	富山大学大学院医学薬学研究部(医学) 生化学講座	助教	神経細胞群の活動様式から“心”を読む・創る
太田 穎生	東京大学大学院理学系研究科 化学専攻 構造化学教室	助教	Learning Cytometryの開発 ～人知を超えるフェノタイプ分類法～
小野寺 康仁	北海道大学大学院医学研究科 生化学講座 分子生物学分野	講師	遺伝子発現変化の履歴を記録するシステムの構築
片野坂 友紀	岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 システム生理	助教	『生理的な力』を利用して心機能を維持するしくみの解明
片山 佳樹	九州大学大学院工学研究院 応用化学部門	教授	悪性がん細胞ほど効果が發揮でき、正常臓器では副作用を示さないがん治療を可能にする細胞内シグナル応答型遺伝子キャリヤー
加藤 洋人	東京医科歯科大学難治疾患研究所 ゲノム病理学分野	助教	新しいゲノミクス解析に基づく新規がん免疫療法の開発
川崎 常臣	福井大学大学院工学研究科 材料開発工学専攻	准教授	L-アミノ酸の起源解明を目指した不斉ストレッカーリアクション
河村 和弘	聖マリアンナ医科大学産婦人科	准教授	卵子再生による新規不妊治療の開発
児島 将康	久留米大学分子生命科学研究所 遺伝情報研究部門	教授	グレリンとトーパー：人工的な冬眠様現象の誘導と組織・臓器保護への応用
小早川 高	大阪バイオサイエンス研究所神経機能学部門	研究員	嗅覚創薬の理論基盤
匂坂 敏朗	神戸大学大学院医学研究科 生理学・細胞生物学講座 膜動態学分野	教授	細胞内小器官の人工合成系の開発
篠原 久明	理化学生命研究所統合生命医科学研究センター 統合細胞システム研究チーム	上級研究員	副作用のない分子標的薬剤の提示
杉山 清佳	新潟大学医歯学系 新領域開拓研究センター 神経発達学分野	准教授(研究室主宰)	移動するホメオ蛋白質の新機能
田中 都	東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科 分子内分泌代謝学分野	特任助教	病原体センサー・内因性リガンド系による自然炎症の制御機構の解明
辻 桂太郎	神奈川県立がんセンター臨床研究所 がん治療学部	主任研究員	敗血症から救命する革新技術
辻村 太郎	東京大学医学部附属病院 ティッシュ・エンジニアリング部 先端腎臓・再生医学講座	特任助教	BMP7のシス解析が解き明かす、褐色・ベージュ脂肪細胞の抗肥満活性調節機構
坪井 直毅	名古屋大学大学院医学系研究科 病態内科学講座腎臓内科学	講師	免疫調整性マクロファージによる難治性腎疾患治療
豊島 文子	京都大学ウイルス研究所 細胞生物学研究部門 構造形成学分野	教授	妊娠における幹細胞の増殖・分化応答機構
中田 慎一郎	大阪大学大学院医学系研究科 細胞応答制御学	独立准教授	ヒト細胞におけるゲノム編集の高効率化と安全性の確保
任 曜晃	新潟大学大学院医歯学総合研究科 分子生理学	准教授	難聴の解明を志向した超分解能断層振動計測装置の創出と医学的応用
橋本 貢士	東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科 メタボ先制医療講座	寄附講座准教授	肝臓におけるDOHaD仮説の分子機構の解明
林 崇	国立精神・神経医療研究センター神経研究所 病態生化学研究部 細胞生化学研究室	室長	脳機能の1分子イメージング
前川 洋一	岐阜大学大学院医学系研究科 寄生虫学・感染学分野	教授	選択的メモリー細胞制御による難治性免疫疾患の克服
松田 浩一	東京大学医科学研究所 ヒトゲノム解析センター シークエンス技術開発分野	准教授	p53変異をターゲットとした治療法の開発
松元 慎吾	北海道大学情報科学研究科 生命人間情報科学専攻 磁気共鳴工学研究室	准教授	超偏極13C MRIによる遺伝子変異イメージング
萬代 研二	神戸大学医学研究科 生化学・分子生物学講座 病態シグナル学部門	特命准教授	Linxによる内包の形成機構
森原 剛史	大阪大学医学系研究科 精神医学教室	医学部講師	アルツハイマー病の新規発症メカニズムの同定: complex diseaseの疾患修飾因子を効率的に発見する研究戦略

30件

ピジョナリーリサーチ継続助成(2012・2013年度ホップ)

氏名	所属機関	職位	研究題目
朝野 仁裕	大阪大学大学院医学系研究科 循環器内科学	医学部講師(助教)	心拍数を調節制御する新規分子を標的とした難治性循環器疾患治療薬の開発と応用
伊藤 公成	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 分子硬組織生物学	教授	がん化耐性マウスの作出とその利用
植村 明嘉	名古屋市立大学大学院医学研究科 網膜血管生物学寄附講座	教授	網膜血管再生療法の開発

鏡 雅代	国立成育医療研究センター 研究所分子内分泌研究部 臨床内分泌研究室	室長	14番染色体インプリンティング確立機構の解明
鈴木 崇之	東京工業大学生命理工学研究科 バイオフロンティア共通講座	准教授	視神經軸索回路の再生モデル
塚本 智史	放射線医学総合研究所研究基盤センター 生物研究推進課	主任技術員	分解の視点で評価する卵の品質診断法の開発
中島 友紀	東京医科歯科大学 大学院医歯学総合研究科 分子情報伝達学	独立准教授 (分野長)	骨リモデリングの制御機構の解明
藤岡 正人	慶應義塾大学医学部 耳鼻咽喉科学教室	助教	新規自己免疫性難聴モデルマウスの樹立と解析による革新的な感音難聴治療法の探索
丸山 健太	大阪大学免疫学フロンティア研究センター 自然免疫学	助教	破骨細胞融合阻害活性及び抗炎症活性を併せ持つ液性因子の同定とその治療応用
三浦 恭子	北海道大学遺伝子病制御研究所 動物機能医科学研究室	講師(テニュアトラック)	超老化／癌化耐性ハグカデバネズミを利用した革新的アンチエイジング方法の開発
南野 徹	新潟大学大学院医歯学総合研究科 循環器内科	教授	がん化を促進しない抗老化治療の開発

11件

ピジョナーリサーチ継続助成(2010・2011年度ステップ)

氏名	所属機関	職位	研究題目
井垣 達史	京都大学大学院生命科学研究科 システム機能学分野	教授	がん悪性化を駆動する細胞間コミュニケーションの解読と制御
北尻 真一郎	京都大学大学院医学研究科 耳鼻咽喉科頭頸部外科	助教	ヒト遺伝性難聴の新規原因分子TRIOBPによる、アクチン束化様式の解明
中村 智之	関西医科大学薬理学講座	教授	弾性線維の再生～マトリックス創薬への第1歩～
原田 彰宏	大阪大学医学系研究科 細胞生物学教室	教授	細胞極性を司る遺伝子の包括的解明と臨床医学への応用
藤田 恭之	北海道大学遺伝子病制御研究所 分子腫瘍分野	教授	正常上皮細胞と癌細胞の相互作用
松下 正之	琉球大学大学院医学研究科 分子・細胞生理学講座	教授	人工ペプチドが拓く次世代医療技術

6件

高等学校理科教育振興奨励

氏名	所属機関	職位	研究題目
秋山 繁治	ノートルダム清心学院清心女子高等学校	教諭	森林のCO ₂ 吸収量の推定を通して地球環境を学ぶ森林実習
天野 誉	(学)山村学園 山村国際高等学校	常勤講師	天然食品のマウス腸内フローラにおよぼす影響(山村国際高等学校 生物部の研究活動)
安齋 朗	千葉県立柏中央高等学校	教諭	科学部生物班の生徒と共に手賀沼の車軸藻類を復元し、車軸藻類による手賀沼の水質浄化及び手賀沼水系生態系の再生を目指す
植田 和利	広島市立美鈴が丘高等学校	教諭	高校化学における太陽炉の利用
内山 正登	東京学芸大学附属高等学校	教諭	教科間連携による遺伝子リテラシー教育の実践
ト部 吉庸	奈良県立樅原高等学校	教諭	ビウレット反応の呈色について
大隅 大	沖縄県立名護高等学校	教諭	生物基礎における探究活動の授業実践～教材開発とプレゼンテーション能力の育成を目指して～
小賀野 大一	千葉県立検見川高等学校	教諭	淡水生カメ類の教材化
岡本 圭史	神戸市立六甲アイランド高等学校	教諭	タデジマイソギンチャクの闘争行動の研究
影森 徹	早稲田大学本庄高等学院	教諭	超音波を利用した物理実験装置の開発
香束 卓郎	獨協埼玉高等学校	教諭	気象観測をいかにして授業で実践するか～自作気象台の確立・運用と簡易風速・風向計の開発～
金子 大佑	広島県立油木高等学校	教諭	蜂蜜に存在する乳酸菌の調査および活用の検討
川田 真吾	鹿児島第一高等学校	教諭	小型ブレッドボードを利用して安価な電気回路実験教材の研究・開発
木戸 淑裕	京都府立北嵯峨高等学校	教諭	有栖川におけるウズムシ類の分布と水質に関する研究
児玉 伊智郎	山口県立山口高等学校	教諭	ナミウズムシに対する水温の作用
小松原 幸弘	宮城県仙台第一高等学校	教諭	高校生による分子生物学特講 手動PCRによる遺伝子組換え作物の検出
清水 美記	大分県立佐伯鶴城高等学校	教諭	撥水砂の作製とその性質の研究～科学部生徒の挑戦～
標 輝人	山梨県立塩山高等学校	教諭	ウオマイの鳴き声認識による環境調査法の確立
竹下 智隆	千葉県立長生高等学校	教諭	教材としてのミズクラゲの継続飼育に関する研究
谷川 智康	兵庫県立三田祥雲館高等学校	教諭	インターネット望遠鏡を用いた小惑星の観測
土屋 徹	東京都立葛西工業高等学校	主任教諭	宇田川椿菴の180年前の夢を実現する—椿菴型の銀樹(ジアナ樹)を平面的につくりフィルム化—
外ノ岡 和政	二松學舎大学附属高等学校	専任教諭	皇居外濠千鳥ヶ淵の水質浄化に向けた経時的水質測定—微細藻類と化学分析による水質評価—
友松 央樹	京都府立福知山高等学校	教諭	飼育環境の違い等がサケの生育にどのような影響を与えるか

永井 秀行	沖縄県立球陽高等学校	教諭	最新気象情報の利活用を通した実践的な防災気象教育の研究
中台 文夫	市川中学校・市川高等学校	教諭	新電池の実験研究 ボルタの電堆から空気電池、砂糖電池まで
塗田 永美	仙台市立仙台青陵中等教育学校	教諭	新課程の高等理科「生物」における免疫実験の教材研究
野田 利之	岡山理科大学附属高等学校	教諭	ナミテントウ斑紋の遺伝に関する研究
橋爪 清成	福島県立福島高等学校	教諭	ポリ乳酸の合成を通じたグリーンサスティナブルケミストリーの教材開発
長谷川 光隆	愛知県立稻沢高等学校	教諭	環境に優しい薬用植物のLED植物工場化技術の確立と地域活性化活動
早川 純平	奈良県立桜井高等学校	教諭	奈良TIMEに連動した実生活に関連させた新規地域密集型教材の開発および実践
福満 晋	島根県立益田高等学校	教諭	小学校へのアウトリーチ活動 一出前実験一
藤江 義輝	愛媛県立小松高等学校	教諭	観光農園と連携した特産品の機能性科学
藤森 明夫	神奈川県立平塚農業高等学校	教諭	宇宙放射線・ガンマ線が植物の生育に与える影響について(種子の放射線被曝に起因するタンパク質生成の分析)
星原 康平	京都府立鴨沂高等学校	教諭	京都の伝統文化を科学する
穂積 裕一	福島県立安積高等学校	教諭	プラスチックシンチレータによる缪ー粒子の測定
前平 敦子	兵庫県立御影高等学校	教諭	草木染における植物色素の科学的探究と媒染剤の効果に関する研究
増子 要一	山形県立寒河江工業高等学校	教諭	モバイル物理(iPad for 物理)の継続
増田 智	茨城県立竜ヶ崎第一高等学校	教諭	固定化パン酵母を用いたニトロベンゼンの還元反応の開発と簡易型バイオリアクターの作製
吉田 英一	兵庫県立尼崎北高等学校	教諭	質量による中和滴定
若狭 信次	長野県松本工業高等学校	教諭	軽い薄い透明、手作り電子デバイスの教材開発

40件

中学校理科教育振興奨励

氏名	所属機関	職位	研究題目
池田 貞治	茨城県水戸市立国田中学校	教諭	ゲンジボタルの生育条件の研究 発光のメカニズムの研究
石井 陽子	大阪市立自然史博物館	学芸員	博物館所蔵ボーリング標本から探る平野地下の地層:博物館学芸員による中学校地学教育支援
今井 章人	早稲田中学校・高等学校	教諭	宇宙エレベーターロボットを利用した生徒の学習活動の活性化
上床 美鈴	南さつま市立万世中学校	教諭	万之瀬川河口におけるクロツラヘラサギ等の冬鳥の生態についての研究
太田 聰	滋賀大学教育学部附属中学校	中学校教諭	ESDの視点から迫る田上山・琵琶湖～淀川水系の地域防災教材の開発
大槻 峻史	鹿嶋市立高松中学校	教諭	科学的な思考力や判断力・表現力を育む理科学習指導～アクティブラーニング型授業の実践を通して～
小川 博久	千葉県君津市立君津中学校	教頭	里山におけるホタル・サンショウウオの生態研究
長田 典子	茨城県つくば市立吾妻中学校	教諭	ICT機器の活用を通じた中学校理科教育の言語活動の充実
工藤 博幸	奈良学園中学校	教諭	福島での計測・学びと学校の授業の連携を通して放射線の正しい理解を目指す実践
齋藤 弘一郎	宮城県古川黎明中学校	教諭	理科の観察・実験を普通教室で行うための教材・教具・指導法の実践研究
坂本 有希	野田村教育委員会	指導主事	粒子概念の理解を図る単元デザインと教材開発
佐藤 祐一	千葉市立川戸中学校	教諭	概念変化のプロセスを利用した「音の性質」の学習指導～タブレットPCの特性を生かした動的観察実験～
杉江 喜寿	周南市立鹿野中学校	教諭	中山間地域の活性化に貢献する理科教育の実践研究～地域に学ぶ、地域を学ぶ：地域の生き物たち～
園部 翼	福島県郡山市立郡山第一中学校	教諭	実感と納得を伴った理科学習を目指して～理論値に近い結果を生む実験の工夫～
竹田 淳一郎	早稲田大学高等学院	教諭	一人一人が手にとって学べる地学の実験・実習教材の開発とその実践
塚口 誠	宮城県岩沼市立岩沼西中学校	教諭	宇宙の不思議を伝える科学部の活動
中西 一雄	滋賀県守山市教育委員会	教育研究所 研究員(教諭)	協調的問題解決過程における能力の可視化・顧在化に向けた探究プロセスの実践-MI(マルチブル・インテリジェンス)理論による能力の可視化とICT活用による思考
中根 恵子	七宗町立上麻生中学校	教諭	自然現象に対する興味・関心を高める動画を中心としたデジタル教材の開発と理科の授業での活用研究
野ヶ山 康弘	京都教育大学附属京都小中学校	教諭	粒子概念の構築を促す教材の開発
原口 栄一	鹿児島市立甲東中学校	教諭	ナノからマクロのイメージをつかむための理科模型開発
日根 昌紀	木更津市立木更津第二中学校	教諭	科学的思考力を高めるiPadの活用法～中学3年『物体の運動』を通して～
福田 哲也	追手門学院大手前中学校	教頭	大阪からロボット教育の風を～大阪ロボットプロジェクトの推進～
前田 務	千葉市立轟町中学校	教諭	惑星の見え方を考える教材の開発

松村 浩一	防府市立国府中学校	教諭	地域の自然を生かした地学教材の開発～花崗岩帯の上にある街の防災教育～
三浦 雅美	札幌市立中央中学校	教諭	運動とエネルギー領域における課題探究型授業の構築について
南島 正重	東京都立両国高等学校附属中学校	主幹教諭	地震現象を科学的に実感できる教材の開発とその普及活動
向 雅生	東京都板橋区立高島第一中学校	教諭	中学校3年間を通して系統立て行う「遺伝子」の指導方法とカリキュラムの開発
村井 昭夫	金沢市立内川中学校	教諭	新しい気象教材「雪結晶の学習のためのチンドル像観察教材」の開発
森河 明彦	三原市立幸崎中学校	教諭	ICT機器を活用した「思考力・表現力」を高める授業の創造～ハイスピードデジタルカメラとビデオカメラによる動画教材の開発について～
若林 教裕	香川大学教育学部附属坂出中学校	指導教諭	ものの姿や色が見えることについて徹底的に吟味したくなる指導展開と教材の工夫

30件

杏雨書屋研究奨励

氏名	所属機関	職位	研究題目
清水 信子	二松學舎大学文学部	非常勤講師	近世後期における医家の学問に関する基礎的研究－難波抱節旧蔵資料を中心として－
鈴木 則子	奈良女子大学研究院 生活環境科学系(生活文化学領域)	教授	賀川流産科医書から読み解く近世後期の産科医療環境と社会
Andrew MACOMBER	名古屋大学文学研究科 比較人文学講座	研究留学生	中世における仏教系灸治法－『傳屍病廿五方』を中心に－
太田 由佳	無所属	なし	江戸時代『本草綱目』講義録類の書誌的調査研究
三鬼 文知	大谷大学	非常勤講師	彌性園方函についての総合的研究
海野 洋平	一関工業高等専門学校一般教科人文社会系	非常勤講師	童蒙教材としての王羲之「顓書論」(「尚想黃綺」帖)－敦煌写本・羽664ノ2Rに見るプレ『千字文』課本の順朱－

6件

合計

468件

別表(2)

2015年度来日外国人留学研究者(国別人数)

<2016年3月31日現在(来日ベース)>

国 別	2015年度 計画 (人数)	実 績 (人数)				備 考
		本年度	前年度 繰越	次年度 繰上	計	
台 湾	6	5	0	2	7	7名承認。7名来日。
タ イ	8	7	0	1	8	8名承認。8名来日。
フィリピン	8	8	0	0	8	8名承認。8名来日。
韓 国	5	4	1	0	5	5名承認。5名来日。
中 国	10	8	1	0	9	10名承認。9名来日。
インドネシア	8	7	0	0	7	8名承認。7名来日。
ベトナム	6	5	1	0	6	6名承認。6名来日。
7カ国 小計	51	44	3	3	50	
上記7カ国以外	5	5	0	0	5	5名承認。3名来日、2名は申請時在日。
総 計	56	49	3	3	55	

2015年度外国人留学研究者明細

2015/4/1-2016/3/31来日者

氏名	所属	研究機関
台湾		
Yi-Hsun Yu	Chang-Gung Memorial Hospital	帝京大学医学部附属病院 救急科外傷センター
Po-Yen Ko	National Cheng Kung University Hospital	慶應義塾大学医学部 整形外科学教室
Ching-Yu Huang	E-Da Hospital	亀田総合病院 ウロギネ科
Shu-Wen Tseng	Show Chwan Memorial Hospital	大阪大学医学部附属病院 感染制御部
Chung-Hao Lin	Chang Gung Memorial Hospital	名古屋大学大学院医学系研究科 地域在宅医療学・老年科学教室
Yu-Hsuan Chien 2016年度	Shin Kong Wu Ho-Su Memorial Hospital	高槻病院 総合周産期母子医療センター
Po-Chih Yang 2016年度	National Taiwan University Hospital	東京大学 肝胆脾外科・人工臓器移植外科
小計	7名	
タイ		
Permsak Paholpak	Khon Kaen University	金沢大学附属病院 整形外科
Thanarpan Peerawong	Prince of Songkla University	京都大学医学部附属病院 放射線治療科
Nakaraj Pluetrattanabha	Walailak University	北海道大学大学院医学研究科 皮膚科学教室
Settapong Boonsri	Chiang Mai University	静岡県立こども病院 心臓血管外科
Thanongsak Chaojin	Yala Hospital	名古屋大学大学院医学系研究科 消化器内科学
Thanyaporn Direksunthorn	Walailak University	北海道大学大学院医学研究科 皮膚科学教室
Manoch Rattanasompattikul	Golden Jubilee Medical Center	東京大学医学部附属病院 腎臓・内分泌内科
Raywat Noiphithak 2016年度	Thammasat University Hospital	名古屋第二赤十字病院 第二脳神経外科
小計	8名	
フィリピン		
Pamela Rose Lanuza Mancio	University of Santo Tomas Hospital	旭川医科大学 臨床検査医学
Ma. Alma Estabillo Carandang	Ramon Magsaysay Memorial Medical Center, Inc.	徳島大学大学院医歯薬学研究部 臨床神経科学（神経内科）
Jasmine Magno de Jesus	University of Santo Tomas Hospital	大阪大学大学院医学系研究科 核医学講座
Shiela Sarmiento Macalindong	Philippine General Hospital	虎の門病院 消化器外科
Vienna Ilan Encila	Philippine General Hospital	国立がん研究センター中央病院 大腸外科
Mamer Soriano Rosario	East Avenue Medical Center	金沢大学附属病院 整形外科
Patrick Joseph Madali Matias	Philippine General Hospital	東京慈恵会医科大学 泌尿器科
Margaret Villamayor	Philippine General Hospital	東京大学医学部附属病院 消化器内科
小計	8名	
韓国		
Dae Hyun Kim 2014年度	Dongsan Medical Center	国立長寿医療研究センター病院
Seong Gon Ryu	Kang-Dong Sacred Heart Hospital	東京大学医学部附属病院 心療内科
Dae Gy Hong	Kyungpook National University	国立がん研究センター中央病院 婦人腫瘍科
Bum Soo Kim	Kyungpook National University Hospital	東京慈恵会医科大学 腎臓・高血圧内科
Sihoon Lee	Gachon University Gil Medical Center	東京大学大学院工学系研究科 バイオエンジニアリング専攻
小計	5名	
中国		
張堅 (ZhangJian) 2014年度	青岛大学医学院附属医院 The Affiliated Hospital of Qingdao University	藤田保健衛生大学病院 上部消化管外科
徐輝 (Xu Hui)	赣南医学院第一附属医院 The First Affiliated Hospital of Gan Nan Medical University	東京慈恵会医科大学附属病院 泌尿器科
林琳 (Lin Lin)	福建省妇幼保健院 Fujian Provincial Maternal and Child Health Hospital	国立成育医療研究センター 周産期・母性診療センター
乔师师 (Qiaoshishi)	鄭州大学第一附属医院 The First Affiliated Hospital of Zhengzhou University	国立がん研究センター中央病院 肝胆脾外科
宋冬晶 (Songdongjing)	哈尔滨市第二医院 The Second Hospital of Harbin	岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 脳神経内科

氏名	所属	研究機関
李陽 (Li Yang)	西安交通大学第二附属医院 The Second Affiliated Hospital of Xi'an Jiaotong University	慶應義塾大学医学部 耳鼻咽喉科学教室
焦晨輝 (Jiao Chenwei)	山东省立医院 Shandong Provincial Hospital	東京女子医科大学病院 小児外科
肖斌 (Xiao Bin)	北京市积水潭医院 Beijing Jishuitan Hospital	慶應義塾大学医学部 整形外科学教室
劉西紡 (Liu Xifang)	西安市紅会医院 Xi'an Honghui Hospital	千葉ろうさい病院 整形外科
小計	9名	

インドネシア

Bahrul Fikri Yahya	University in Makassar	あいち小児保健医療総合センター
Dian Estu Yulia	Cipto Mangunkusumo Hospital	国立成育医療研究センター 眼科
Ratih Paramita Suprapto	Brawijaya University	神戸大学大学院医学研究科 内科学講座
Bantari Wisynu Kusuma Wardhani	University of Indonesia	筑波大学人間総合科学研究科 実験病理
Ilmiawati Binti Duski Samad	Andalas University	名古屋大学大学院医学系研究科 環境労働衛生学
Yordan Khaedir	University of Indonesia	国立感染症研究所 エイズ研究センター
Kristiana Siste Kurniasanti	Psychiatry University of Indonesia	久里浜医療センター
小計	7名	

ベトナム

Nguyen Hai Au 2013年度	Thu duc hospital	静岡県立こども病院
Pham Quoc Thang	University of Medicine and Pharmacy	広島大学大学院医歯薬保健学研究院 分子病理学研究室
Tran Thanh Tung	Vietnam Authority of HIV/AIDS Control	京都大学大学院医学研究科 社会疫学分野
Doan Nguyen Minh Thien	University of Medicine and Pharmacy	東京大学大学院医学系研究科 国際保健学専攻国際生物医科学講座
Phan Tien Loi	Children's Hospital No. 1	静岡県立こども病院 循環器科
Luong Cong Hieu	University Medical Center	静岡県立こども病院
小計	6名	

その他の

Mati Ur Rehman	富山大学	富山大学大学院医学薬学研究部 (医学) 放射線基礎医学講座
Mohammed Nazmul Ahsan	University of Dhaka	名古屋大学大学院医学系研究科 環境労働衛生学
Prabha Tiwari	大阪大学	医薬基盤研究所 ワクチンマテリアルプロジェクト
Hanan Bouaouda	Strasbourg University	筑波大学 国際統合睡眠医科学研究機構
Alaa Eldin Tawfik Ismail Refaat	Zewail city of science and technology	富山大学大学院医学薬学研究部 (薬学) がん細胞生物学研究室
小計	5名	
合計	55名	

国別外国人留学研究者数累計

2016/3/31現在
(来日ベース)

国別	期間	25ヵ月 &以上	24ヵ月 &以下	12ヵ月 &以下	6ヵ月 &以下	3ヵ月	3ヵ月 未満	合計	制度発足年
台湾		22	52	108	53	308	1	544	1964
タイ			6	9	109	61		185	1966
フィリピン			5	8	90	22		125	1971
韓国			1	103	18			122	1972
中国		27	110	90				227	1981
インドネシア			8	16	46	61	2	133	1982
ベトナム				3	14	38	1	56	1998
アメリカ			3			1		4	
アルバニア					1			1	
イギリス			1					1	
イタリー			1	2	1			4	
イラン				1				1	
インド		2	7	8	1			18	
エジプト				4	3	1		8	
オーストラリア				2				2	
カナダ				2	1			3	
コンゴ				1				1	
シリア				1				1	
スイス				1				1	
スエーデン				2				2	
セネガル					1			1	
チュニジア				1				1	
ドイツ		4	4	3				11	
トルコ				1	3			4	
ニュージーランド					1			1	
ネパール				1	1			2	
パキスタン				1				1	
パラグアイ				1	2			3	
バングラデシュ				4	8	2		14	
ブラジル				1				1	
フランス		2	3	3	1			9	
ベネズエラ				1				1	
ベラルーシ				1				1	
ペルー		1	1	2				4	
ベルギー					1			1	
マレーシア				1		1		2	
ミャンマー		1			3	3		7	
メキシコ		1						1	
モロッコ				1				1	
モンゴル					1			1	
ロシア		1	1				1	3	
合計		22	116	403	463	500	5	1,509	

2015年度医学部博士課程奨学助成者明細

2015年度 新規奨学助成者

氏名	博士課程進学後の所属講座・教室
飯野 祐介	東京大学大学院医学系研究科 疾患生命工学センター構造生理学部門
守田 啓悟	東京大学大学院医学系研究科 分子細胞生物学専攻生化学・分子生物学講座分子生物学分野
高木あかり	京都大学ウイルス研究所 増殖制御学分野
通山 潔	京都大学大学院医学研究科 神経・細胞薬理学
森本 彰人	大阪大学大学院医学系研究科 感染免疫医学講座
山室 祢	大阪大学大学院医学系研究科 遺伝学教室
小林 大貴	名古屋大学大学院医学系研究科 腫瘍病理学／分子病理学分野
國村 和史	九州大学生体防御医学研究所 免疫遺伝学分野
佐々木大貴	九州大学大学院医学研究院 系統解剖学分野
井上 千裕	東北大学大学院医学系研究科 病理診断学分野
北脇 優子	東北大学大学院医学系研究科 病理診断学分野
鈴木 智貴	北海道大学大学院医学研究科 神経生理学分野

12名

2013年度継続奨学助成者の中で、研究優秀による追加奨学助成者

氏名	博士課程進学後の所属講座・教室
森本 亮	東京大学大学院医学系研究科 リピドミクス社会連携講座
岩井 美佳	名古屋大学大学院医学系研究科 分子腫瘍学分野

2名

第8回 武田科学振興財団薬科学シンポジウム ポスター優賞 受賞者

氏名	所属	ポスタータイトル
大神田 淳子	京都大学	Module-Assembly for Mid-sized Agents that Regulate Intracellular Protein-protein Interactions
後藤 佑樹	東京大学	Artificial in vitro biosynthesis system for natural product-like peptides
相馬 洋平	東京大学	Biocompatible Photooxygenation Catalyst that Targets Amyloid Aggregation
中瀬 生彦	大阪府立大学	Effective cellular uptake of exosomes modified with biofunctional peptides
野口 太朗	京都大学	Facile Access to the Mirror-Image Library of Chiral Natural Product Derivatives: Application for Identification of an MDM2-p53 Interaction Inhibitor
服部 竜弥	長浜バイオ大学	Mitocryptides: candidate factors for neutrophil-activating peptides in mitochondrial DAMPs
北條 恵子	神戸学院大学	Design, Synthesis and Biological Activity of Stapled Single -Chain Peptide Agonist for the Relaxin-3 Receptor

7名

II. 処務の概要

2016年3月31日現在

1. 理事、監事に関する事項		理事 定数：5人～10人 現在：常勤 非常勤 計 2人 7人 9人 任期：2年				監事 定数：2人 現在：非常勤 計 2人 2人 任期：4年		
	氏名	就任		再任		基本給 (月額)	職名	
		就任年月日	登記年月日	再任年月日	登記年月日			
理事 (理事長) 常勤	横山 巍	2005. 9.30	2005. 10.12	2015. 6.12	2015. 6.24	807,000		
理事 (常務理事) 常勤	前野 哲也	2013. 6.14	2013. 6.24	2015. 6.12	2015. 6.24	757,000		
理事 非常勤	伊藤 貞嘉	2015. 6.12	2015. 6.24	—	—	なし	東北大学 理事（研究担当）	
理事 非常勤	北澤 清	2009. 9.30	2009. 10.15	2015. 6.12	2015. 6.24	なし	(一社) 未承認薬等開発支援センター 理事 元武田薬品工業株式会社 常務取締役	
理事 非常勤	北村 惣一郎	2009. 9.30	2009. 10.15	2015. 6.12	2015. 6.24	なし	堺市立病院機構 理事長 国立循環器病研究センター 名誉総長	
理事 非常勤	桑野 信彦	2009. 9.30	2009. 10.15	2015. 6.12	2015. 6.24	なし	九州大学 名誉教授 聖マリア健康科学研究所 センター長	
理事 非常勤	郷 通子	2009. 9.30	2009. 10.15	2015. 6.12	2015. 6.24	なし	名古屋大学 理事（大学運営担当）	
理事 非常勤	近藤 孝男	2015. 6.12	2015. 6.24	—	—	なし	名古屋大学大学院理学研究科 特任教授	
理事 非常勤	濵谷 正史	2009. 9.30	2009. 10.15	2015. 6.12	2015. 6.24	なし	上武大学 学長 東京大学 名誉教授 東京医科歯科大学 客員教授	
監事 非常勤	中山 俊治	2009. 10.1	2010. 12.1	2013. 6.14	2013. 6.24	なし	弁護士	
監事 非常勤	夏住 要一郎	2011. 6.17	2011. 6.30	2015. 6.12	2015. 6.24	なし	弁護士	

2016年3月31日現在

2. 評議員に関する事項		評議員 定数：10人～15人 現在：非常勤 計 11人 11人 任期：4年		
	氏名	就任年月日	再任年月日	職名
評議員	井上 圭三	2010.12.1	2014.6.13	帝京大学 副学長 東京大学 名誉教授
評議員	春日 雅人	2010.12.1	2014.6.13	国立国際医療研究センター 総長・理事長
評議員	河盛 隆造	2014.6.13	—	順天堂大学 特任教授 順天堂大学大学院スポーツトロジーセンター長 カナダ・トロント大学医学部生理学講座 教授
評議員	齋藤 英彦	2010.12.1	2014.6.13	国立病院機構名古屋医療センター 名誉院長
評議員	笹川 千尋	2010.12.1	2014.6.13	日本生物科学研究所 常務理事 東京大学 名誉教授 千葉大学真菌医学研究センター長
評議員	武田 光子	2014.6.13	—	(公財) 発酵研究所 理事
評議員	永井 美之	2010.12.1	2014.6.13	理化学研究所 名誉研究員 名古屋大学・東京大学 名誉教授
評議員	名和田 新	2014.6.13	—	医療法人誠和会牟田病院 名誉院長 九州大学 名誉教授
評議員	長谷川 閑史	2010.12.1	2014.6.13	武田薬品工業株式会社 取締役会長
評議員	本庶 佑	2010.12.1	2014.6.13	京都大学大学院医学研究科 特任教授 静岡県公立大学法人 理事長 (公財) 先端医療振興財団 理事長
評議員	眞弓 忠範	2010.12.1	2014.6.13	神戸学院大学大学院薬学研究科 教授 大阪大学 名誉教授

3. 職員に関する事項

	人 数	基本給合計月額（単位：円）	備 考
事務職員	8	3,982,000	全員が専任者である。

4. 会議に関する事項

〈理事会〉

第21回定期理事会 2015年5月22日	議案 ・2014年度事業報告および財務諸表等承認の件 ・定時評議員会開催の件 ・報告事項　職務の執行状況の報告の件
第22回臨時理事会 2015年6月12日	議案 ・代表理事選定の件 ・業務執行理事選定の件 ・武田薬品の株主総会の議案について
第23回臨時理事会 2015年11月12日	議案 ・2016年度事業計画の件
第24回定期理事会 2016年3月4日	議案 ・2016年度事業計画の件 ・2016年度予算の件 ・選考委員選任の件 ・評議員会開催の件 ・報告事項　職務の執行状況の報告の件

〈評議員会〉

第12回定期評議員会 2015年6月12日 (みなし決議・報告による)	議案 ・理事9名　幹事1名　選任の件 ・2014年度事業報告および決算内容報告の件
第13回臨時評議員会 2016年3月25日 (みなし報告による)	議案 ・2016年度事業計画の件 ・2016年度予算の件

5. 寄附金に関する事項

寄 附 者	寄附の目的	寄 附 金 額
エルアイ武田他7件	公益事業目的発展のため	5,340,000円

貸 借 対 照 表

(2016年3月31日現在)

公益財団法人 武田科学振興財団

(単位 : 円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	20,709,360	54,459,299	-33,749,939
前払金	3,307,800	2,701,350	606,450
流動資産合計	24,017,160	57,160,649	-33,143,489
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
現金預金	13,588,044	13,158,044	430,000
投資有価証券	81,440,149,864	94,452,323,384	-13,012,173,520
図書資料	2,709,762,243	2,654,695,476	55,066,767
基本財産合計	84,163,500,151	97,120,176,904	-12,956,676,753
(2) 特定資産			
助成基金	19,394,321,039	21,294,346,856	-1,900,025,817
杏雨基金	266,921,558	231,260,435	35,661,123
資産取得資金	91,022,000	55,745,000	35,277,000
寄附者指定特定基金	3,309,544,052	2,462,464,929	847,079,123
建物	150,192,612	156,375,772	-6,183,160
特定資産合計	23,212,001,261	24,200,192,992	-988,191,731
(3) その他固定資産			
建物	145,854,134	158,862,927	-13,008,793
什器備品	240,219,166	270,816,353	-30,597,187
ソフトウェア	17,568,023	24,252,035	-6,684,012
保証金	50,000	50,000	0
その他固定資産合計	403,691,323	453,981,315	-50,289,992
固定資産合計	107,779,192,735	121,774,351,211	-13,995,158,476
資産合計	107,803,209,895	121,831,511,860	-14,028,301,965
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	9,770,339	6,310,510	3,459,829
未払費用	944,399	897,801	46,598
預り金	2,354,723	2,651,147	-296,424
流動負債合計	13,069,461	9,859,458	3,210,003
2. 固定負債			
役員退職慰労引当金	10,574,550	9,010,550	1,564,000
退職給付引当金	5,608,000	3,263,000	2,345,000
固定負債合計	16,182,550	12,273,550	3,909,000
負債合計	29,252,011	22,133,008	7,119,003
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
受贈投資有価証券	78,614,184,000	91,823,693,500	-13,209,509,500
基本財産受取配当金利息	3,459,352,777	2,618,456,814	840,895,963
指定正味財産合計	82,073,536,777	94,442,150,314	-12,368,613,537
(うち基本財産への充当額)	(78,614,184,000)	(91,823,693,500)	(-13,209,509,500)
(うち特定資産への充当額)	(3,459,352,777)	(2,618,456,814)	(840,895,963)
2. 一般正味財産			
(うち基本財産への充当額)	25,700,421,107	27,367,228,538	-1,666,807,431
(うち特定資産への充当額)	(5,549,316,151)	(5,296,483,404)	(252,832,747)
正味財産合計	(19,752,648,484)	(21,581,736,178)	(-1,829,087,694)
負債及び正味財産合計	107,773,957,884	121,809,378,852	-14,035,420,968
	107,803,209,895	121,831,511,860	-14,028,301,965

正味財産増減計算書

2015年4月1日から2016年3月31日まで

公益財団法人 武田科学振興財団

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	1,940,004,056	1,801,929,954	138,074,102
基本財産受取配当金	1,914,274,037	1,780,650,240	133,623,797
基本財産受取利息	25,730,019	21,279,714	4,450,305
特定資産運用益	525,650,242	515,163,497	10,486,745
特定資産受取配当金	468,964,080	468,964,080	0
特定資産受取利息	56,686,162	46,199,417	10,486,745
受取補助金	3,510,000	0	3,510,000
国宝重要文化財等保存整備費補助金	3,510,000	0	3,510,000
受取寄付金	5,340,000	542,000	4,798,000
受取寄付金	5,340,000	542,000	4,798,000
雑収益	163,987	169,416	-5,429
受取利息	163,987	169,416	-5,429
経常収益計	2,474,668,285	2,317,804,867	156,863,418
(2) 経常費用			
事業費	2,426,422,677	2,270,617,847	155,804,830
武田報彰医学研究助成金	210,000,000	210,000,000	0
生命科学研究助成金	210,000,000	210,000,000	0
ライサイン研究奨励金	68,000,000	60,000,000	8,000,000
医学系研究奨励金	472,000,000	408,000,000	64,000,000
薬学系研究奨励金	102,000,000	86,000,000	16,000,000
特定研究助成金	400,000,000	400,000,000	0
ビジョナリーリサーチ助成金	175,000,000	116,000,000	59,000,000
高等学校理科教育振興奨励金	12,000,000	12,000,000	0
中学校理科教育振興奨励金	9,000,000	9,000,000	0
杏雨書屋研究奨励金	4,600,000	5,000,000	-400,000
外国人留学助成金	96,404,219	87,697,556	8,706,663
武田医学賞褒賞金	30,000,000	45,000,000	-15,000,000
シンポジウムスター褒賞金	3,500,000	3,500,000	0
医学部博士課程奨学助成	165,400,000	125,800,000	39,600,000
助成金等費用	30,498,898	28,748,898	1,750,000
役員報酬	11,194,960	11,194,960	0
給料手当	33,766,541	35,597,739	-1,831,198
役員退職慰労引当金繰入額	799,640	810,658	-11,018
退職給付費用	1,975,000	1,025,000	950,000
福利厚生費	6,954,694	7,189,853	-235,159
会議費	29,841,707	49,266,567	-19,424,860
旅費交通費	45,159,929	58,482,043	-13,322,114
通信運搬費	5,698,848	4,082,228	1,616,620
減価償却費	56,567,063	57,445,313	-878,250
消耗品費	4,986,678	6,981,677	-1,994,999
修繕費	61,119,586	50,632,830	10,486,756
印刷製本費	50,603,778	39,429,266	11,174,512
光熱水料費	2,322,669	2,818,459	-495,790
賃借料	51,648,905	51,649,099	-194
保険料	8,277,951	8,469,868	-191,917
諸謝金	10,155,356	8,686,337	1,469,019
租税公課	32,000	0	32,000
委託費	40,348,766	53,105,896	-12,757,130
広報費	16,276,656	16,852,972	-576,316
雑費	288,833	150,628	138,205

管理費	48, 245, 608	47, 187, 020	1, 058, 588
役員報酬	12, 290, 896	12, 887, 092	-596, 196
給料手当	12, 744, 211	10, 899, 646	1, 844, 565
役員退職慰労引当金繰入額	864, 360	1, 174, 892	-310, 532
退職給付費用	370, 000	830, 000	-460, 000
福利厚生費	5, 852, 232	4, 968, 189	884, 043
会議費	1, 546, 497	1, 697, 131	-150, 634
旅費交通費	1, 819, 640	1, 831, 653	-12, 013
通信運搬費	371, 034	467, 210	-96, 176
減価償却費	700, 969	794, 141	-93, 172
消耗品費	1, 504, 539	1, 272, 757	231, 782
修繕費	0	232, 221	-232, 221
印刷製本費	377, 013	311, 400	65, 613
光熱水料費	1, 880, 255	1, 737, 789	142, 466
賃借料	2, 882, 545	2, 882, 351	194
保険料	146, 089	147, 222	-1, 133
諸謝金	496, 830	447, 147	49, 683
租税公課	400	100, 000	-99, 600
会計監査報酬	1, 620, 000	1, 575, 000	45, 000
委託費	2, 351, 890	2, 576, 884	-224, 994
雑 費	426, 208	354, 295	71, 913
経常費用計	2, 474, 668, 285	2, 317, 804, 867	156, 863, 418
評価損益等調整前当期経常増減額	0	0	0
基本財産評価損益等	197, 447, 371	74, 735, 934	122, 711, 437
基本財産評価損益等	197, 447, 371	74, 735, 934	122, 711, 437
特定資産評価損益等	-1, 864, 254, 802	3, 020, 815, 385	-4, 885, 070, 187
特定資産評価損益等	-1, 864, 254, 802	3, 020, 815, 385	-4, 885, 070, 187
評価損益等計	-1, 666, 807, 431	3, 095, 551, 319	-4, 762, 358, 750
当期経常増減額	-1, 666, 807, 431	3, 095, 551, 319	-4, 762, 358, 750
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	-1, 666, 807, 431	3, 095, 551, 319	-4, 762, 358, 750
一般正味財産期首残高	27, 367, 228, 538	24, 271, 677, 219	3, 095, 551, 319
一般正味財産期末残高	25, 700, 421, 107	27, 367, 228, 538	-1, 666, 807, 431
II 指定正味財産増減の部			
受取補助金	3, 510, 000	0	3, 510, 000
国宝重要文化財等保存整備費補助金	3, 510, 000	0	3, 510, 000
基本財産運用益	2, 755, 170, 000	2, 755, 170, 000	0
基本財産受取配当金	2, 755, 170, 000	2, 755, 170, 000	0
特定資産運用益	874, 103	413, 536	460, 567
特定資産受取利息	874, 103	413, 536	460, 567
基本財産評価損益	-13, 209, 509, 500	16, 944, 295, 500	-30, 153, 805, 000
基本財産評価損益	-13, 209, 509, 500	16, 944, 295, 500	-30, 153, 805, 000
一般正味財産への振替額	-1, 918, 658, 140	-1, 781, 063, 776	-137, 594, 364
一般正味財産への振替額	-1, 918, 658, 140	-1, 781, 063, 776	-137, 594, 364
当期指定正味財産増減額	-12, 368, 613, 537	17, 918, 815, 260	-30, 287, 428, 797
指定正味財産期首残高	94, 442, 150, 314	76, 523, 335, 054	17, 918, 815, 260
指定正味財産期末残高	82, 073, 536, 777	94, 442, 150, 314	-12, 368, 613, 537
III 正味財産期末残高	107, 773, 957, 884	121, 809, 378, 852	-14, 035, 420, 968

正味財産増減計算書内訳表

2015年4月1日から2016年3月31日まで

公益財団法人 武田科学振興財团

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計							法人会計	内部取引 消去	合 計
	研究助成	奨学助成	武田医学賞	国際シンポジウム	本草医書発刊	本草医書公開	共 通			
I 一般正味財産増減の部										
1. 経常増減の部										
(1) 経常収益										
基本財産運用益	25,730,019	0	0	0	0	0	1,866,617,827	1,892,347,846	47,656,210	1,940,004,056
基本財産受取配当金	0	0	0	0	0	0	1,866,617,827	1,866,617,827	47,656,210	1,914,274,037
基本財産受取利息	25,730,019	0	0	0	0	0		25,730,019		25,730,019
特定資産運用益	522,260,939	0	0	0	0	2,514,947	448,945	525,224,831	425,411	525,650,242
特定資産受取配当金	468,964,080	0	0	0	0	0	0	468,964,080	0	468,964,080
特定資産受取利息	53,296,859	0	0	0	0	2,514,947	448,945	56,260,751	425,411	56,686,162
受取補助金	0	0	0	0	0	3,510,000	0	3,510,000	0	3,510,000
国宝重要文化財等保存整備費補助金						3,510,000		3,510,000	0	3,510,000
受取寄付金	0	0	0	0	0	0	5,340,000	5,340,000	0	5,340,000
受取寄付金	0	0	0	0	0	0	5,340,000	5,340,000	0	5,340,000
雑収益	0	0	0	0	0	0	0	0	163,987	163,987
受取利息	0	0	0	0	0	0	0	0	163,987	163,987
経常収益計	547,990,958	0	0	0	0	6,024,947	1,872,406,772	2,426,422,677	48,245,603	2,474,668,285
(2) 経常費用										
事業費	1,781,582,529	301,584,175	54,730,167	64,162,663	25,812,733	198,548,026	2,384	2,426,422,677		2,426,422,677
武田報彰医学研究助成金	210,000,000							210,000,000		210,000,000
生命科学研究助成金	210,000,000							210,000,000		210,000,000
ライフサイエンス研究奨励金	68,000,000							68,000,000		68,000,000
医学系研究奨励金	472,000,000							472,000,000		472,000,000
薬学系研究奨励金	102,000,000							102,000,000		102,000,000
特定研究助成金	400,000,000							400,000,000		400,000,000
ビジョナリーリサーチ助成金	175,000,000							175,000,000		175,000,000
高等学校理科教育振興奨励金	12,000,000							12,000,000		12,000,000
中学校理科教育振興奨励金	9,000,000							9,000,000		9,000,000
杏雨書屋研究奨励金	4,600,000							4,600,000		4,600,000
外国人留学助成金		96,404,219						96,404,219		96,404,219
武田医学賞褒賞金			30,000,000					30,000,000		30,000,000
シンポジウムポスター褒賞金				3,500,000				3,500,000		3,500,000
医学部博士課程奨学助成		165,400,000						165,400,000		165,400,000
助成金等費用	22,575,000	90,000	2,250,000	250,000		5,333,898		30,498,898		30,498,898
役員報酬	4,379,200	2,365,580	981,820	437,920	218,960	2,811,480		11,194,960		11,194,960
給料手当	10,067,821	7,239,974	976,232	2,987,990	1,253,369	11,241,155		33,766,541		33,766,541
役員退職慰労引当金繰入額	312,800	168,970	70,130	31,280	15,640	200,820		799,640		799,640
退職給付費用	270,000	504,400	30,000	220,600	95,000	855,000		1,975,000		1,975,000
福利厚生費	1,406,081	973,461	1,034,510	973,460	0	2,567,182		6,954,694		6,954,694
会議費	10,897,886	2,570,748	4,298,014	10,984,820	75,990	1,014,249		29,841,707		29,841,707
旅費交通費	12,974,448	13,164,511	2,670,248	14,487,990	0	1,862,732		45,159,929		45,159,929
通信運搬費	1,098,174	586,200	140,426	44,422	1,791,222	2,038,404		5,698,848		5,698,848
減価償却費	1,642,897	915,495	570,948	585,465	567,834	52,284,424		56,567,063		56,567,063
消耗品費	1,997,082	1,009,663	576,691	277,488	0	1,125,754		4,986,678		4,986,678
修繕費	0	0	0	0	0	61,119,586		61,119,586		61,119,586
印刷製本費	22,568,076	929,363	6,282,743	66,485	16,832,040	3,925,071		50,603,778		50,603,778
光熱水料費	442,413	331,810	331,810	331,810	0	884,826		2,322,669		2,322,669
賃借料	2,881,587	3,685,487	2,880,256	2,880,412	2,880,204	36,440,959		51,648,905		51,648,905
保険料	10,079	3,062,268	10,079	10,079	10,079	5,175,367		8,277,951		8,277,951
諸謝金	3,567,613	0	584,430	2,131,440	1,985,331	1,886,542		10,155,356		10,155,356
租税公課	0	0	0	0	12,000	20,000		32,000		32,000
委託費	5,782,916	1,965,961	901,430	23,961,002	75,064	7,662,393		40,348,766		40,348,766
広報費	16,106,256	0	140,400	0	0	30,000		16,276,656		16,276,656
雑費	2,200	216,065	0	0	0	68,184	2,384	288,833		288,833

正味財産増減計算書内訳表

2015年4月1日から2016年3月31日まで

公益財団法人 武田科学振興財団

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計								法人会計	内部取引 消去	合 計
	研究助成	奨学助成	武田医学賞	国際シンポジウム	本草医書発刊	本草医書公開	共 通	小 計			
管理費									48,245,608		48,245,608
役員報酬									12,290,896		12,290,896
給料手当									12,744,211		12,744,211
役員退職慰労引当金繰入額									864,360		864,360
退職給付費用									370,000		370,000
福利厚生費									5,852,232		5,852,232
会議費									1,546,497		1,546,497
旅費交通費									1,819,640		1,819,640
通信運搬費									371,034		371,034
減価償却費									700,969		700,969
消耗品費									1,504,539		1,504,539
修繕費									0		0
印刷製本費									377,013		377,013
光熱水料費									1,880,255		1,880,255
賃借料									2,882,545		2,882,545
保険料									146,089		146,089
諸謝金									496,830		496,830
租税公課									400		400
会計監査報酬									1,620,000		1,620,000
委託費									2,351,890		2,351,890
雜費									426,208		426,208
経常費用計	1,781,582,529	301,584,175	54,730,167	64,162,663	25,812,733	198,548,026	2,384	2,426,422,677	48,245,608		2,474,668,285
評価損益等調整前当期経常増減額	-1,233,591,571	-301,584,175	-54,730,167	-64,162,663	-25,812,733	-192,523,079	1,872,404,388		0	0	0
基本財産評価損益等	197,447,371								197,447,371		197,447,371
基本財産評価損益等	197,447,371								197,447,371		197,447,371
特定資産評価損益等	-1,899,920,071						35,665,269		-1,864,254,802		-1,864,254,802
特定資産評価損益等	-1,899,920,071						35,665,269		-1,864,254,802		-1,864,254,802
評価損益等計	-1,702,472,700						35,665,269		-1,666,807,431		-1,666,807,431
当期経常増減額	-2,936,064,271	-301,584,175	-54,730,167	-64,162,663	-25,812,733	-156,857,810	1,872,404,388	-1,666,807,431		0	-1,666,807,431
2. 経常外増減の部											
(1) 経常外収益											
経常外収益計									0	0	0
(2) 経常外費用											
経常外費用計									0	0	0
当期経常外増減額									0	0	0
当期一般正味財産増減額	-2,936,064,271	-301,584,175	-54,730,167	-64,162,663	-25,812,733	-156,857,810	1,872,404,388	-1,666,807,431		0	-1,666,807,431
一般正味財産期首残高											27,367,228,538
一般正味財産期末残高											25,700,421,107
II 指定正味財産増減の部											
受取補助金							3,510,000		3,510,000		3,510,000
国宝重要文化財等保存整備費補助金							3,510,000		3,510,000		3,510,000
基本財産運用益								2,468,070,000	2,468,070,000	287,100,000	2,755,170,000
基本財産受取配当金								2,468,070,000	2,468,070,000	287,100,000	2,755,170,000
特定資産運用益								448,945	448,945	425,158	874,103
特定資産受取利息								448,945	448,945	425,158	874,103
基本財産評価損益								11,833,024,500	-11,833,024,500	-1,376,485,000	-13,209,509,500
基本財産評価損益								-11,833,024,500	-11,833,024,500	-1,376,485,000	-13,209,509,500
一般正味財産への振替額							-3,510,000	-1,867,066,772	-1,870,576,772	-48,081,368	-1,918,658,140
一般正味財産への振替額							-3,510,000	-1,867,066,772	-1,870,576,772	-48,081,368	-1,918,658,140
当期指定正味財産増減額									-11,231,572,327	-1,137,041,210	-12,368,613,537
指定正味財産期首残高											94,442,150,314
指定正味財産期末残高											82,073,536,777
III 正味財産期末残高											107,773,957,884

貸借対照表を会計区分していないため、一般正味財産期首残高、一般正味財産期末残高及び、指定正味財産期首残高、指定正味財産期末残高並びに正味財産期末残高は合計欄に記載している。

附 屬 明 細 書

1. 基本財産及び特定資産の明細

財務諸表に対する注記に記載している。

2. 引当金の明細

(単位 : 円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
役員退職慰労引当金	9,010,550	1,564,000	0	0	10,574,550
退職給付引当金	3,263,000	2,345,000	0	0	5,608,000

キャッシュ・フロー計算書
2015年4月1日から2016年3月31日まで

公益財団法人 武田科学振興財団

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 事業活動によるキャッシュ・フロー			
1. 事業活動収入			
基本財産運用収入	2,780,577,124	2,776,393,419	4,183,705
配当金収入	2,755,170,000	2,755,170,000	0
利息収入	25,407,124	21,223,419	4,183,705
特定資産運用収入	525,758,375	516,056,186	9,702,189
配当金収入	468,964,080	468,964,080	0
利息収入	56,794,295	47,092,106	9,702,189
補助金収入	3,510,000	0	3,510,000
寄付金収入	5,340,000	542,000	4,798,000
雑収入	163,987	169,416	-5,429
利息収入	163,987	169,416	-5,429
事業活動収入計	3,315,349,486	3,293,161,021	22,188,465
2. 事業活動支出			
研究助成事業支出	1,779,182,212	1,620,764,779	158,417,433
奨学助成事業支出	300,704,622	270,528,084	30,176,538
武田医学賞褒賞事業支出	53,968,044	63,120,622	-9,152,578
国際シンポジウム事業支出	63,354,936	99,383,783	-36,028,847
本草医書発刊事業支出	25,146,021	22,860,646	2,285,375
本草医書公開事業支出	142,892,062	134,797,732	8,094,330
公益目的事業共通費支出	2,384	2,730	-346
管理費支出	45,637,419	44,787,987	849,432
その他の事業活動支出	0	2,161,160	-2,161,160
事業活動支出計	2,410,887,700	2,258,407,523	152,480,177
事業活動によるキャッシュ・フロー			
II 投資活動によるキャッシュ・フロー			
1. 投資活動収入			
基本財産取崩収入	479,572,681	1,290,381,769	-810,809,088
基本財産普通預金収入	239,572,681	645,381,769	-405,809,088
基本財産投資有価証券償還収入	240,000,000	645,000,000	-405,000,000
特定資産取崩収入	2,262,044,364	3,404,171,131	-1,142,126,767
特定資産普通預金収入	1,132,044,364	1,704,171,131	-572,126,767
特定資産投資有価証券償還収入	1,130,000,000	1,700,000,000	-570,000,000
定期預金取崩収入	0	30,000,000	-30,000,000
投資活動収入計	2,741,617,045	4,724,552,900	-1,982,935,855
2. 投資活動支出			
基本財産取得支出	534,636,767	1,320,357,700	-785,720,933
基本財産普通預金支出	240,000,000	645,000,000	-405,000,000
基本財産投資有価証券取得支出	239,570,000	645,379,200	-405,809,200
図書資料取得支出	55,066,767	29,978,500	25,088,267
特定資産取得支出	3,144,397,123	4,420,147,420	-1,275,750,297
特定資産普通預金支出	1,130,000,000	1,700,000,000	-570,000,000
特定資産投資有価証券取得支出	1,132,041,000	1,704,167,500	-572,126,500
特定資産資産取得資金取得支出	35,277,000	35,277,000	0
特定資産寄附者指定特定基金取得支出	847,079,123	980,702,920	-133,623,797
固定資産取得支出	794,880	794,829	51
什器備品購入支出	0	341,229	-341,229
ソフトウェア購入支出	794,880	453,600	341,280
投資活動支出計	3,679,828,770	5,741,299,949	-2,061,471,179
投資活動によるキャッシュ・フロー			
III 財務活動によるキャッシュ・フロー			
1. 財務活動収入			
財務活動収入計	0	0	0
2. 財務活動支出			
財務活動支出計	0	0	0
財務活動によるキャッシュ・フロー			
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	0	0	0
V 現金及び現金同等物の増減額	-33,749,939	18,006,449	-51,756,388
VI 現金及び現金同等物の期首残高	54,459,299	36,452,850	18,006,449
VII 現金及び現金同等物の期末残高	20,709,360	54,459,299	-33,749,939

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法
 ①満期保有目的の債券 債却原価法（定額法）によっている。
 ②その他有価証券（時価のあるもの） 期末日の市場価格等に基づく時価法（評価差額は正味財産増減として処理し、売却原価は移動平均法により算定）によっている。
- (2) 固定資産の減価償却方法
 ①建物 定額法によっている。
 ②什器備品 定額法によっている。
 ③ソフトウェア 定額法によっている。
- (3) 引当金の計上基準
 ①役員退職慰労引当金 役員の退職慰労金の支給に備えるため、理事・監事報酬等規程に基づく期末要支給額を計上している。
 ②退職給付引当金 職員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務に基づき、当期において発生していると認められる額を計上している。
- (4) キャッシュ・フロー計算書における資金の範囲
 資金の範囲には、手元現金及び隨時引き出し可能な預金を含めている。
- (5) 消費税等の会計処理
 税込方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
現 金 預 金	13,158,044	430,000	0	13,588,044
投 資 有 価 証 券	94,452,323,384	0	13,012,173,520	81,440,149,864
図 書 資 料	2,654,695,476	55,066,767	0	2,709,762,243
小 計	97,120,176,904	55,496,767	13,012,173,520	84,163,500,151
特定資産				
助 成 基 金	21,294,346,856	0	1,900,025,817	19,394,321,039
杏 雨 基 金	231,260,435	35,661,123	0	266,921,558
資 産 取 得 資 金	55,745,000	35,277,000	0	91,022,000
寄 附 者 指 定 特 定 基 金	2,462,464,929	847,079,123	0	3,309,544,052
建 物	156,375,772	0	6,183,160	150,192,612
小 計	24,200,192,992	918,017,246	1,906,208,977	23,212,001,261
合 計	121,320,369,896	973,514,013	14,918,382,497	107,375,501,412

- (注) 1. 基本財産の投資有価証券の当期減少額のうち、12,888,732,805円は時価評価損であり、その他償却原価等も含んでいる。
 2. 特定資産の助成基金の当期減少額のうち、1,693,992,279円は時価評価損であり、その他償却原価等も含んでいる。

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
現 金 預 金	13,588,044	(0)	(13,588,044)	(0)
投 資 有 債 証 券	81,440,149,864	(78,614,184,000)	(2,825,965,864)	(0)
図 書 資 料	2,709,762,243	(0)	(2,709,762,243)	(0)
小 計	84,163,500,151	(78,614,184,000)	(5,549,316,151)	(0)
特定資産				
助 成 基 金	19,394,321,039	(0)	(19,394,321,039)	(0)
杏 雨 基 金	266,921,558	(0)	(266,921,558)	(0)
資 産 取 得 資 金	91,022,000	(0)	(91,022,000)	(0)
寄 附 者 指 定 特 定 基 金	3,309,544,052	(3,309,160,165)	(383,887)	(0)
建 物	150,192,612	(150,192,612)	(0)	(0)
小 計	23,212,001,261	(3,459,352,777)	(19,752,648,484)	(0)
合 計	107,375,501,412	(82,073,536,777)	(25,301,964,635)	(0)

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
特定資産			
建 物	166,165,775	15,973,163	150,192,612
その他固定資産			
建 物	179,460,183	33,606,049	145,854,134
什 器 備 品	323,214,763	82,995,597	240,219,166
ソ フ ト ウ ェ ア	38,056,860	20,488,837	17,568,023
合 計	706,897,581	153,063,646	553,833,935

5. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位：円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時 価	評価差益
基本財産：			
第97回利付国債(5年)	100,000,000	100,100,000	100,000
第99回利付国債(5年)	300,127,364	300,720,000	592,636
助成基金：			
第97回利付国債(5年)	900,000,000	900,900,000	900,000
合 計	1,300,127,364	1,301,720,000	1,592,636

6. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増減額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上 の記載区分
補助金						
国宝重要文化財等保存 整備費補助金	文化庁	0	3,510,000	3,510,000	0	—
合 計		0	3,510,000	3,510,000	0	

7. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
受取補助金（目的達成による指定解除額）	3,510,000
基本財産受取配当金（目的達成による指定解除額）	1,908,090,877
基本財産受取配当金（減価償却費計上による振替額）	6,183,160
特定資産受取利息（目的達成による指定解除額）	874,103
合 計	1,918,658,140

8. キャッシュ・フロー計算書の資金の範囲及び重要な非資金取引

(1) 現金及び現金同等物の期末残高と貸借対照表に掲記されている金額との関係は以下のとおりである。

(単位：円)

前 期 末	当 期 末
現金預金勘定 54,459,299	現金預金勘定 20,709,360
預入期間が3ヶ月を超える定期預金 0	預入期間が3ヶ月を超える定期預金 0
現金及び現金同等物 54,459,299	現金及び現金同等物 20,709,360

(2) 重要な非資金取引は以下のとおりである。

前 期 末	当 期 末
重要な非資金取引はない。	重要な非資金取引はない。

財産目録

2016年3月31日現在

公益財団法人 武田科学振興財団

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)			
現金預金			20,709,360
現金	手元保管	運転資金として	22,051
普通預金	三井住友信託銀行大阪本店営業部	"	13,492,098
普通預金	三井住友銀行十三支店	"	7,195,211
前払金			3,307,800
前払金	三井住友海上火災保険	海外旅行保険包括契約 前払金	3,307,800
流動資産合計			24,017,160
(固定資産)			
基本財産			84,163,500,151
図書資料	現金預金		13,588,044
	普通預金		13,588,044
	投資有価証券		81,440,149,864
	株式 (武田薬品㈱15,306,500株)		78,614,184,000
	公益目的事業会計	89.6%は公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業の共通の財源として使用している。	70,422,264,000
	法人会計	10.4%は公益目的事業に必要な管理費の財源として使用している。	8,191,920,000
	公社債		2,825,965,864
	満期保有債券	第97回利付国債(5年)	100,000,000
		第99回利付国債(5年)	300,127,364
	その他債券	第131回利付国債(20年)	309,300,000
		第10回利付国債(30年)	114,210,000
		第11回利付国債(30年)	298,200,000
		第143回利付国債(20年)	183,705,000
		第62回利付国債(20年)	107,480,000
		第329回利付国債(10年)	268,700,000
		第327回利付国債(10年)	149,842,000
		第333回利付国債(10年)	260,753,500
		第151回利付国債(20年)	462,160,000
		第152回利付国債(20年)	115,430,000
		第155回利付国債(20年)	156,058,000
		公益目的保有財産であり、本草医書公開事業に供している不可欠特定財産である。 (公益認定前取得額合計)	2,709,762,243
	本草関係書類	(故) 武田長兵衛氏 寄贈	2,041,811,323
	東洋学善本	(故) 武田長兵衛氏 寄贈	409,230,000
	本草・医書・関係書籍	武田薬品工業㈱ 寄贈	570,816,000
	医家墨蹟類	武田薬品工業㈱ 寄贈	16,586部
	医療器具類	武田薬品工業㈱ 寄贈	589点
	武田家文書	武田家 寄贈	150点
	村上文書	武田家 寄贈 (書状5,000通含)	2,396部
	洗心文庫追加	武田家 寄贈	909部
	羽田文庫	武田家 寄贈	195部
	医書関係書籍	1978年度購入阿知波文庫	758部
	医書関係書籍	1991年度購入	1333部
	半井家本医心方	1992年度購入	4部
	Siebold's Florilegium of Japanese Plants	1994年度購入	8部
	宋版 経史證類備急本草	1997年度購入	5部
	中藥大辞典	1999年度購入	203,940
	本草図譜	1999年度購入	5部
			308,700
			506,520

図書資料	東洋医学書善本叢書	2000年度購入	20冊	681,345
	本草肉摺	2000年度購入	4帙23冊	8,925,000
	黄帝内經素問診解他	"	29冊	873,600
	医心方続編	2000年度購入	1冊	488,250
	萬金産業袋	2001年度購入	5冊	189,000
	中国本草全書	2001～2002年度購入	411冊	8,908,333
	金陵本 本草綱目	2002年度購入	7	236,250
	「蘭」川澄理三郎彩色肉筆画	2002年度購入	109枚	1,260,000
	BOTANICAL CABINET	"	20冊	4,725,000
	HOOKER'S EXOTIC FLORA	"	3冊	892,500
	THE BOTANICAL REGISTER	2003年度購入	34冊	7,875,000
	鴻寶秘要抄	"	1冊	682,500
	続添鴻宝秘要抄抜書	"	1冊	262,500
	江馬榴園書状集	2003年度購入	1冊	357,710
	衍義本草	2004年度購入	21冊	9,450,000
	医方大成	"	5冊	2,100,000
	医林類証集要	"	20冊	4,200,000
	世医得効方	"	20冊	4,200,000
	植物誌カナダ植物図書館 蔵本アカシリ版	2005年度購入	1冊	1,197,000
	補遺雷公炮製便覧	"	13冊	350,000
	東洋医学雑誌復刻彙書	"	8冊	257,250
	常陸文庫	"	571部	74,970,000
	Grondbeginselen der scheikunde door A. L. Lavoisier	2006年度購入	1部	2,200,000
	長崎西家由緒書	"	1冊	252,000
	野間玄琢磨書状	"	1冊	170,000
	奈須玄壺・玄竹書状集	"	1冊	420,000
	帆足万里書状	"	1冊	252,000
	権田直助書状集	"	1冊	220,000
	ヘボン氏手術図以下 126点	2007年度購入	126点	22,050,000
	キニホフ植物印影図譜	"	1冊	4,200,000
	本草品彙精要写本	"	6冊	367,500
	松木文庫	2008年度購入	207点	126,000,000
	一神論・序聴迷詩所経	"	2巻	577,500
	曲直瀬道三自筆啓迪集	"	2冊	7,000,000
	森鷗外書簡巻	"	1通	1,400,000
	ベルセリウス：化学教書	"	6冊	660,000
	エウスタキオ画：解剖図表	"	1冊	450,000
	森鷗外自筆書簡	2009年度購入	1通	1,489,000
	香葉抄	"	1冊	7,896,000
	小関仁一郎書簡巻	"	1巻	300,000
	Molecular Structure of Nucleic Acids, Nature 171:1~3, 1953 Watson JD and Crick FHC他	"	19冊	15,579,900
	二宮文庫	"	268点	52,500,000
	医方考	2010年度4月～11月購入	6冊	4,800,000
	意伝釣	"	1冊	360,000
	ローベル：草木誌	"	1冊	2,173,500
	ラナウ：博物陳列室	"	1冊	282,555
	ショメル：家政事典 初版（フランス語）	2010年度4月～11月購入	1冊	724,500
	田中彌性園文庫	"	700点	65,724,750
	沢庵宗彭自筆刺針要致 配済録他	"	1巻	1,260,000
		"	3冊	1,462,960

	医心方提要他	"	13冊	2,276,960
		(以上、公益認定前取得)		
		(以下、公益認定後取得)		
		(公益認定後取得額合計)		667,950,920
図書資料	方葉順次要	2010年度1月購入	3冊	262,500
	lennec Stethoscope. c. 1819	2010年度1月購入	1冊	1,575,000
	森鷗外草稿	2011年度購入	2冊	615,980
	石原保秀文庫	2011年(財)日本漢方医学研究所より寄附	2384冊	44,231,250
	新編俗解八十一難經図要	2011年度購入	1冊	1,200,000
	解剖学蘭訳初版	"	1冊	6,500,000
	小曾戸文庫	"	1802点	261,092,470
	Ontleding des Menschelyken	"	1冊	1,995,000
	外科学入門	"	1冊	367,500
	トーマス・バルトリン「解剖学」	"	1冊	262,500
	師弟問答	"	1冊	4,500,000
	曲直瀬道三書状	"	1冊	650,000
	合薬直伝集	"	1冊	350,000
	岡本玄治書状	"	1部	157,500
	方肥剤	"	1冊	340,980
	古医書写本	"	9冊	560,980
	医学正伝	"	8冊	945,980
	證類本草序列	"	1冊	2,250,000
	ショメル: 日用百科事典	2012年度購入	16冊	1,575,000
	ハウタイン: リンネの体系にもとづく自然誌	"	37冊	2,100,000
	マルチネット: 自然の教理問答	"	4冊	81,900
	バスター: 科学の楽しみ	"	1冊	441,000
	シュブレンゲル: 植物学入門	"	3冊	126,000
	ジャクイ: 植物学入門	"	1冊	79,800
	デイビス: 王立植物園での実演による血液循環および新発見に基づく人体の解剖	"	1冊	56,133
図書資料	檜林高秀静山、建吉巨梅、宗建和山、高連峽山像	"	4幅対	100,000
	浅田栗園先生母堂栗園宛消息	"	4通	85,000
	鈴木松塘・菜蘭 浅田栗園宛書簡他	"	26通	250,000
	長崎医師笠戸正胤・西道仙 浅田栗園宛書簡他	"	10通	200,000
	名家書簡	"	46通54紙	2,625,000
	マルティン: 哲学教師または現代実験自然学概説	"	1冊	94,500
	医学正伝	"	8冊	7,500,000
	奥田・藤平文庫	"	668点	13,760,460
	古文孝経	"	1巻	12,055,970
	神農皇帝真伝灸図	"	1冊	285,990
	校正本 救荒本草・救荒野譜	"	3冊	395,990
	草之名集 秋之部	"	1冊	175,990
	新刊 大觀本草	"	20冊	1,759,990
	日本植物図譜	"	1冊	1,088,990
	察病指南	"	1冊	285,990
	意伝普救録	"	1冊	285,990
	節斎漫録	"	3冊	2,210,990
	大成論抄	"	1冊	340,990
	禽獸魚介蟲図譜	"	4冊	1,759,990

図書資料	医家本草家書状	"		1巻	420,000
	大塚修琴堂文庫	"	2985点	1軸	139,987,890
	中西深齋 尺牘	2013年度購入		1軸	380,000
	曲直瀬道三自筆所持本 醫方大成論・宜禁本草	"		2冊	9,000,000
	素問入式運氣論奥	"		1冊	3,500,000
	重修政和經史證類備用 本草 (巻十五~十七)	"		1冊	252,000
	吉雄幸作・俊藏書簡	"		1巻	420,000
	江馬春齡・蘭斎書簡	"		1巻	330,000
	ターヘル・アナトミア	"		1冊	290,200
	日本医史学会文庫	"		38点	7,980,500
	大阪華岡塾合水堂文庫	"		319点	42,765,760
	レメリン「小宇宙図 譜」ラテン語&オラン ダ語 第3版	2014年度購入		1冊	1,296,000
	刈谷藩士本草学者宍戸 昌 自筆文書	"		12冊	525,000
	伊藤(圭介・延吉・篤 太郎)家伝来文書	"		9幅	5,450,000
	射駒山觀花書画	"		1巻	270,000
	蘭碗摘芳草稿	"		1冊	1,700,000
	大阪華岡塾合水堂文庫	"		12点	20,422,500
	本間玄調肖像	"		1幅	315,000
	ニーランド「ネーデル ラント薬用草木誌」	2015年度購入		1冊	540,000
	クルムス「ターヘル・ アナトミア」	"		1冊	3,078,000
	難波抱節自筆稿本・旧 蔵写本・版本一括	"		21冊	367,500
	二十八宿三微垣並星象 畧図	"		1冊	84,000
	家宝全書・清嘉錄・医 謬正俗難波抱節自筆本	"		7冊	148,500
	解体新書	"		5冊	4,000,000
	古文孝経	"		1冊	8,500,000
	玉機微義	"		12冊	6,500,000
	杉立文庫	"		26点	5,990,560
	古訓医伝葉能方法辨	"		5冊	36,750
	傷寒論国字辨	"		1冊	31,500
	傷寒論辨正	"		1冊	15,750
	傷寒外伝	"		1冊	42,000
	五書別體	"		1冊	63,000
	傷寒論識	"		6冊	15,750
	傷寒論特解	"		1冊	73,500
	家刻傷寒論	"		1冊	63,000
	傷寒貫珠集	"		1冊	73,500
	喻嘉言先生傷寒尚論篇 全書	"		1冊	63,000
	金匱正辨	"		1冊	10,500
	傷寒論劉氏伝	"		1冊	15,750
	傷寒論轍義	"		1冊	94,500
	傷寒論大意	"		1冊	31,500
	キニホフ「Botanica in Originali Pharmaceutica.」	"		1冊	997,207
	温知堂文庫	"	619点		19,440,000
	解体新書	"		5冊	3,591,000

	経史證類大觀本草	//	25冊	1,200,000
特定資産				23,212,001,261
助成基金				19,394,321,039
普通預金	三井住友信託銀行大阪本店営業部	公益目的保有財産であり、運用益を研究助成事業の財源として使用している。		13,987,623
定期預金	三井住友信託銀行大阪本店営業部	公益目的保有財産であり、運用益を研究助成事業の財源として使用している。		600,000,000
投資有価証券		公益目的保有財産であり、運用益を研究助成事業の財源として使用している。		18,780,333,416
株式	武田薬品(株) 2,605,356株			13,381,108,416
公社債				5,399,225,000
満期保有債券	第97回利付国債(5年)			900,000,000
その他債券	第326回利付国債(10年)			308,415,000
	第11回利付国債(30年)			186,375,000
	第137回利付国債(20年)			247,920,000
	第139回利付国債(20年)			734,280,000
	第329回利付国債(10年)			322,440,000
	第141回利付国債(20年)			248,340,000
	第62回利付国債(20年)			214,960,000
	第148回利付国債(20年)			483,880,000
	第149回利付国債(20年)			120,940,000
	第151回利付国債(20年)			346,620,000
	第337回利付国債(10年)			260,275,000
	第338回利付国債(10年)			157,500,000
	第339回利付国債(20年)			524,950,000
	第152回利付国債(20年)			230,860,000
	第155回利付国債(20年)			111,470,000
杏雨基金				266,921,558
普通預金	三井住友信託銀行大阪本店営業部	公益目的保有財産であり、運用益を本草医書公開事業の財源として使用している。		1,432,558
公社債				265,489,000
その他債券	第152回利付国債(20年)	公益目的保有財産であり、運用益を本草医書公開事業の財源として使用している。		265,489,000
資産取得資金				91,022,000
現金預金	公益目的事業会計	公益目的事業の用に供する固定資産の取得に充てるために使用している。		88,628,000
現金預金	法人会計	管理業務の用に供する固定資産の取得に充てるために使用している。		2,394,000
寄附者指定特定基金				3,309,544,052
現金預金	公益目的事業会計	公益目的保有財産であり、寄附者から指定された基金として公益目的事業及び公益目的事業に必要な管理業務の財源として使用している。		2,146,706,079
現金預金	法人会計			1,162,837,973
建物	公益目的事業会計			150,192,612
	新南館書庫	公益目的保有財産であり、本草医書公開事業の建物として使用している。		150,192,612
その他固定資産				403,691,323
建物	道修町ビル	公益目的保有財産であり、本草医書公開事業の建物として使用している。		145,854,134
公益目的事業会計	道修町ビル	公益目的事業に必要な管理業務に使用している。		22,066,410
法人会計				123,787,724
什器備品	(本草医書公開)			240,219,166
公益目的事業会計	自動化書庫装置一式	公益目的保有財産であり、本草医書公開事業の什器備品として使用している。		237,120,557
	道修町ビル1F展示室備品	"		156,595,371
	道修町ビル4F 書架	"		67,842,556
	プリンタ1台	"		12,310,731
	両袖机1台	"		202,125
				169,774
法人会計	(管理費)			3,098,609
	パソコン2台・サーバー1台	公益目的事業に必要な管理業務に使用している。		285,289
	プリンタ1台	"		188,038
	財団紹介DVD/上映装置	"		458,412
	道修町ビルデータ交換機、データ電話設備	"		1,100,765

	会議室テーブル・OA収納テーブル	"	1,066,105
ソフトウェア 公益目的事業会計 公益目的事業会計 公益目的事業会計 法人会計 保証金 法人会計	電子申請システム 自動化書庫関連システム 研究助成管理システム 財団紹介コンテンツプラットフォーム セコム警備保証金	公益目的保有財産であり、研究助成事業のソフトウェアとして使用している。 公益目的保有財産であり、本草医書公開のソフトウェアとして使用している。 公益目的保有財産であり、研究助成事業のソフトウェアとして使用している。 公益目的事業に必要な管理業務のソフトウェアとして使用している。	17,568,023 1,460,509 15,580,554 309,960 217,000
固定資産合計			107,779,192,735
資産合計			107,803,209,895
(流動負債)			
未払金 未払金	有限責任監査法人トーマツ 常勤役員に対するもの 職員に対するもの 業者に対するもの	2015年度 監査費用未払分 2016年3月分 給与未払分 2016年3月分 給与未払分 古書修理代	9,770,339 1,620,000 1,564,000 4,087,111 2,499,228
未払費用 未払費用	常勤役員・職員に対するもの	2016年3月分給与・期末賞与 福利厚生費未払分	944,399 944,399
預り金 預り金		住民税の預り金 2016年2月分給与・期末手当所得税 預り金 2015年度 給与・期末手当 社会保険預り金	2,354,723 1,128,800 836,833 389,090
流動負債合計			13,069,461
(固定負債)			
	役員退職慰労引当金 退職給付引当金	役員に対するもの 職員に対するもの	10,574,550 5,608,000
固定負債合計			16,182,550
負債合計			29,252,011
正味財産			107,773,957,884

独立監査人の監査報告書

平成 28 年 4 月 21 日

公益財団法人 武田科学振興財団

理 事 会 御中

有限責任監査法人 ト 一 マ ツ

指定有限責任社員 公認会計士 吉 村 祥二郎 
業 務 執 行 社 員

<財務諸表監査>

当監査法人は、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第 23 条の規定に基づき、公益財団法人武田科学振興財団の平成 27 年 4 月 1 日から平成 28 年 3 月 31 日までの 2015 年度の貸借対照表及び損益計算書（公益認定等ガイドライン I-5(1) の定めによる「正味財産増減計算書」をいう。）並びにその附属明細書並びにキャッシュ・フロー計算書並びに財務諸表に対する注記について監査し、併せて、正味財産増減計算書内訳表（以下、これらの監査の対象書類を「財務諸表等」という。）について監査を行った。

財務諸表等に対する理事者の責任

理事者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して財務諸表等を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表等を作成し適正に表示するために理事者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した監査に基づいて、独立の立場から財務諸表等に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に財務諸表等に重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。

監査においては、財務諸表等の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による財務諸表等の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、財務諸表等の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、理事者が採用した会計方針及びその適用方法並びに理事者によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表等の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

監査意見

当監査法人は、上記の財務諸表等が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して、当該財務諸表等に係る期間の財産、損益（正味財産増減）及びキャッシュ・フローの状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

<財産目録に対する意見>

当監査法人は、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第 23 条の規定に基づき、公益財団法人武田科学振興財団の平成 28 年 3 月 31 日現在の 2015 年度の財産目録（「貸借対照表科目」、「金額」及び「使用目的等」の欄に限る。以下同じ。）について監査を行った。

財産目録に対する理事者の責任

理事者の責任は、財産目録を、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠するとともに、公益認定関係書類と整合して作成することにある。

監査人の責任

当監査法人の責任は、財産目録が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠しており、公益認定関係書類と整合して作成されているかについて意見を表明することにある。

財産目録に対する監査意見

当監査法人は、上記の財産目録が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠しており、公益認定関係書類と整合して作成されているものと認める。

利害関係

公益財団法人武田科学振興財団と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

監 査 報 告 書

平成28年5月6日

公益財団法人 武田科学振興財団

理事長 横山 巍 殿

監事 中山 俊治 ㊞

監事 夏住 要一郎 ㊞

私たち監事は、当財団の平成27年4月1日から平成28年3月31日までの平成27年度の理事の職務の執行について監査を行いましたので、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第99条第1項（同法第197条において準用する第99条第1項）並びに公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律施行規則第33条第2項の規定に基づき本監査報告書を作成し、以下のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

私たち監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事等からその職務の執行について報告を受け、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査しました。

以上 の方法によって、当該年度に係る事業報告及びその附属明細書を監査しました。

さらに、会計監査人から、当該年度の監査計画及び実施した監査手続等の報告を受け、会計監査人が独立の立場を保持し、かつ、適正に監査を行っていることを確かめました。

以上 の方法によって、当該年度に係る貸借対照表及び正味財産増減計算書（正味財産増減計算書内訳表を含む。）並びにその附属明細書並びにキャッシュ・フロー計算書並びに財務諸表に対する注記（以下「財務諸表等」という。）及び財産目録を監査しました。

2 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、当財団の状況を正しく示していると認めます。
- ② 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。
- ③ 内部統制システムに関する理事会決議及びその体制下の理事の職務の執行は、相当であると認めます。

(2) 財務諸表等及び財産目録の監査結果

会計監査人有限責任監査法人トーマツの監査の方法及び結果は、相当であると認めます。

以上